

ポータブル ステレオCDシステム

取扱説明書

保証書別添付



このたびはポータブルステレオCDシステムをお買上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

その後大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

Panasonic

もくじ

操作前に

必ずお守りください	2
付属品	3
特長	3
電源	4
メモリー用乾電池	4
リモコンの準備	5
乾電池の交換時期	5
各部のなまえ	6
コブラトップパネルについて	8
共通操作	9
時計を合わせる	11
放送局を記憶させる	12

演奏

ラジオ放送を聞く	14
CDを聞く	17
テープを聞く	22

音質

音質を調整する	25
---------	----

録音

CDを録音する	27
ラジオ放送を録音する	38
テープからテープへ録音する	39

タイマー

おめざめタイマーを使う	40
留守録タイマーを使う	42
おやすみタイマーを使う	44
タイマーを組み合わせて使う	45

その他の機能

マイクを使って楽しむ	46
他の機器と組み合わせて使う	47

参考

CDについて	48
テープについて	48
お手入れ/著作権について	49
海外で使うときは	49
故障かな!?	50
アフターサービスについて	51
メニュー操作について	52
リモコン操作早見表	56
索引	59
主な仕様/別売品について	裏表紙

！必ずお守りください

操作前に



電源は、AC（交流）100Vで

電源コードは正しく取り扱ってください。
取り扱いを誤ると危険です。

- プラグを持つ
- ぬれた手でさわらない
- 重いものを載せない
- 無理に曲げない

加工・改造・異物の挿入はしない



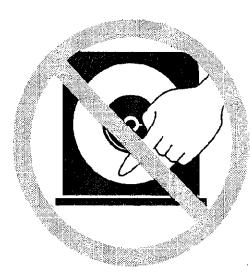
感電や故障の原因になります。
特に子供にはご注意ください。

水・薬品はかかるないように



引火、火災や感電の恐れがあります。
また、本機の上に可燃性ガスの入ったヘアスプレーなどを置かないでください。

指を入れないで



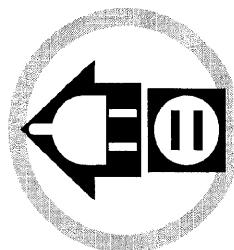
トレイやカセットふたが閉まるときに指をはさむおそれがあります。

乾電池の+と-は正しく入れる



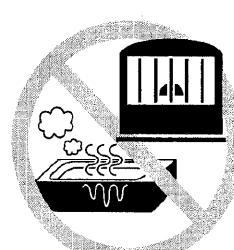
液漏れにより、本機を破損するおそれがあります。

長期間使用しないときは



思わぬ事故を避けるため、
電源コードをコンセントから抜いておいてください。

設置は安定した、風通しのよいところに



キャビネットや部品をいためますので、次のようなところは避けてください。

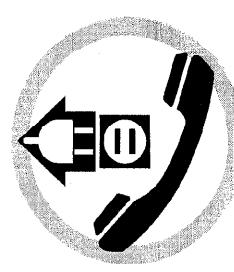
- 湿気の多い所
- 倉庫などほこりの多い所
- 直射日光の当る所など、
温度が高い所

夏の閉め切った車内に放置しない



100℃に達することもありますので、キャビネットが変形、変色することがあります。

万一、故障が起きたら

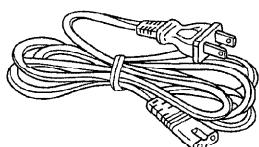


電源コードを抜き、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

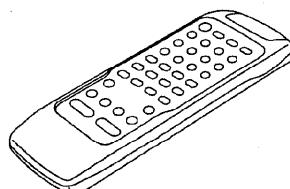
付属品

ご使用の前に付属品をお確かめください。

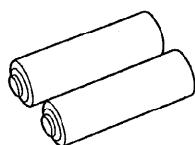
電源コード(1)



リモコン(1)



リモコン用乾電池(2)



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を開めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

特長



機能満載コブラトップ

(☞8ページ)

- 本体前面に手をかざすと自動的にコブラトップが開き、演奏を開始（マジカルコブラトップ）
- コブラトップパネルを見やすい角度に調整可能

操作
前に

高音質設計

(☞25ページ)

- バイアンプ4ドライブ方式
- バスレフ型3ウェイ6スピーカー搭載
- プリセットイコライザー、S-XBS搭載



高性能電動力セット

(☞24ページ)

- 高速の早送り、巻き戻し
- 前後9曲の頭出し（TPS機能）
- テープの演奏経過時間の目やすを表示（リニアテーブルカウンター）
- テープの振動を押さえる力セットスタビライザー搭載
- テープの出し入れがしやすいポップアップカセット



充実したCD編集録音機能

(☞27ページ)

- 簡単にCDを全曲録音（自動CD録音）
- CDエディット録音機能（AI/フィット、マニュアル、リンク）



AMステレオ対応シンセサイザーチューナー

(☞12ページ)

- 自動的に放送局を記憶（オートメモリー）
- 外部アンテナ端子付き

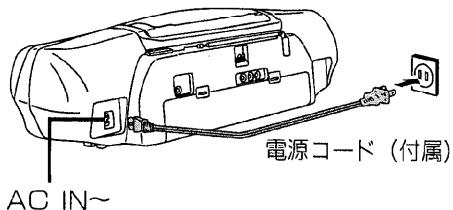
電源

2つの方法があります。

家庭用コンセントで

家庭用コンセント (AC100V、50/60Hz)

操作前に

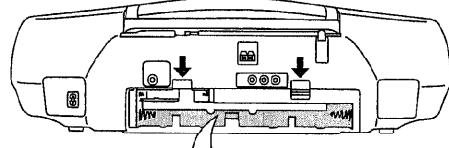


乾電池（別売り）で

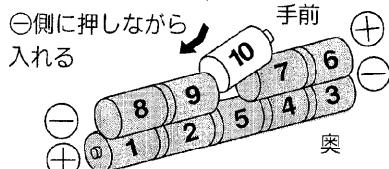
セット前面を下にして乾電池を入れるときは、傷がつかないよう、柔らかい布を敷いて行うことをおすすめします。

入れかた

電源コードを後面のAC IN 端子から抜き、番号順に入れる。

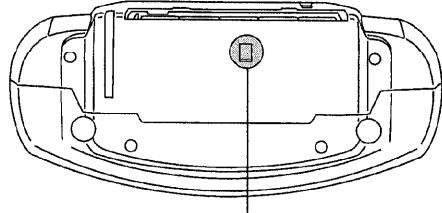


単1形 (R20P/LR20)



出しかた

底面



指を差しこみ押し出す

ご参考

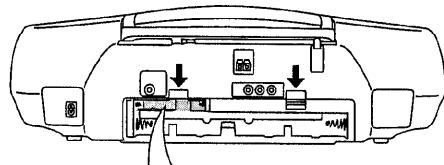
家庭用コンセントで使用している場合、長期間使用しないときは、節電のために、電源コードを抜いておいてください。

(電源が切れていても、コード接続中は約3Wの電力を消費しています。)

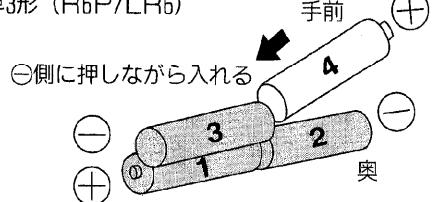
メモリー用乾電池(別売り)

停電や電源用乾電池消耗時に時計が止まったりメモリーが消えたりするのを防ぐために、メモリー用乾電池を入れておくことをおすすめします。

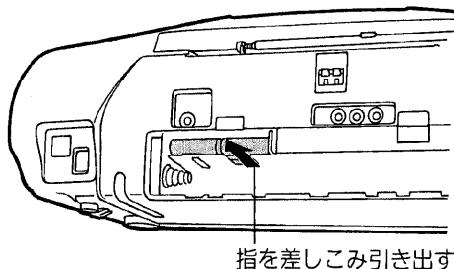
乾電池の入れかた



単3形 (R6P/LR6)



乾電池の出しかた



メモリーについて

メモリー用乾電池を使用していない場合、次のときにメモリーが消えますので、もう一度メモリーしてください。

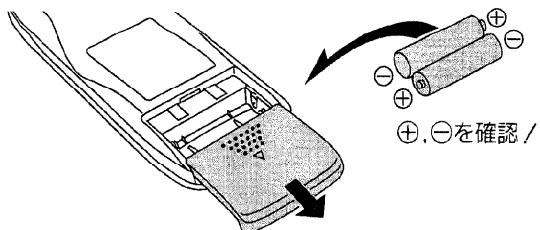
家庭用コンセントで使用している場合

- ・停電したとき
 - ・電源コードを抜いたとき
- 乾電池で使用している場合
- ・乾電池が消耗したとき
 - ・コンセントに差しこまれていない電源コードを本機のAC IN 端子に差しこんだとき

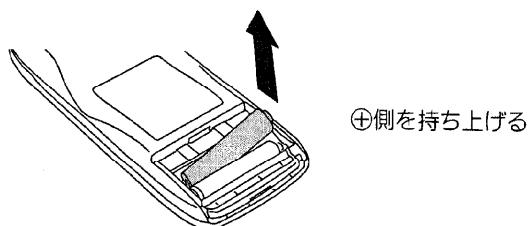
リモコンの準備

乾電池（付属）の入れかた

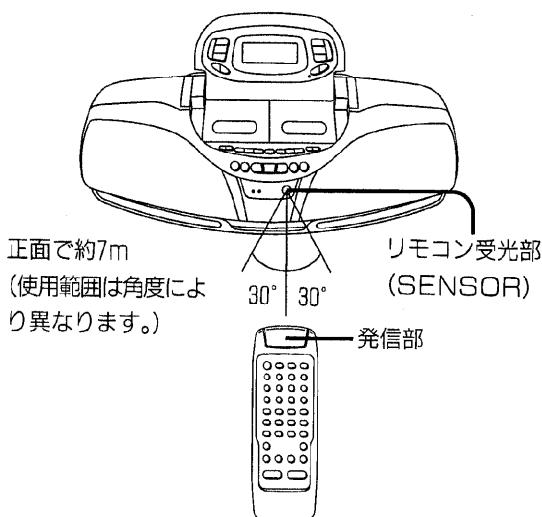
単4形 (R03)



乾電池の出しかた



リモコンの使用範囲



リモコンの使用上のご注意

次のことをお守りください。

- ・リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- ・リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- ・リモコン受光部と発信部のほこりに注意する。

リモコンの故障防止のために

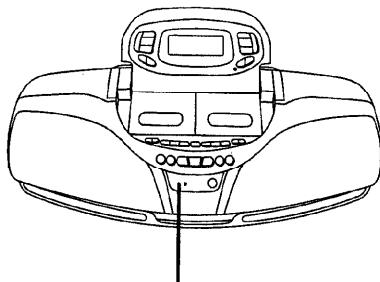
次のことをお守りください。

- ・分解、改造しない。
- ・重いものを載せない。
- ・直射日光の当たる所に放置しない。
- ・ジュースなどの液状のものをこぼさない。

乾電池の交換時期

電源用

演奏中に確認します。(停止状態では正しい確認ができません。)



操作前

POWER/BATT表示が消えている(または暗い)ときは、すべて新しい乾電池と交換してください。

メモリー用

約一年です。

メモリー保持のため、電源コードを家庭用コンセントに接続してからすべて新しい乾電池と交換してください。

- ・電源コードをいつも家庭用コンセントに差しこんでおくと(通電状態)、メモリー用乾電池の消耗を減らすことができます。
- ・電源コードを抜くときは、電源ボタンで電源を切つてから行ってください。
電源が入った状態で、電源コードを家庭用コンセントから抜くと、メモリー用乾電池の消耗が早くなります。

リモコン用

約一年です。

リモコンを本体の近くで操作しても動かないときは、すべて新しい乾電池と交換してください。

乾電池の破裂・液漏れ防止のために

次のことをお守りください。

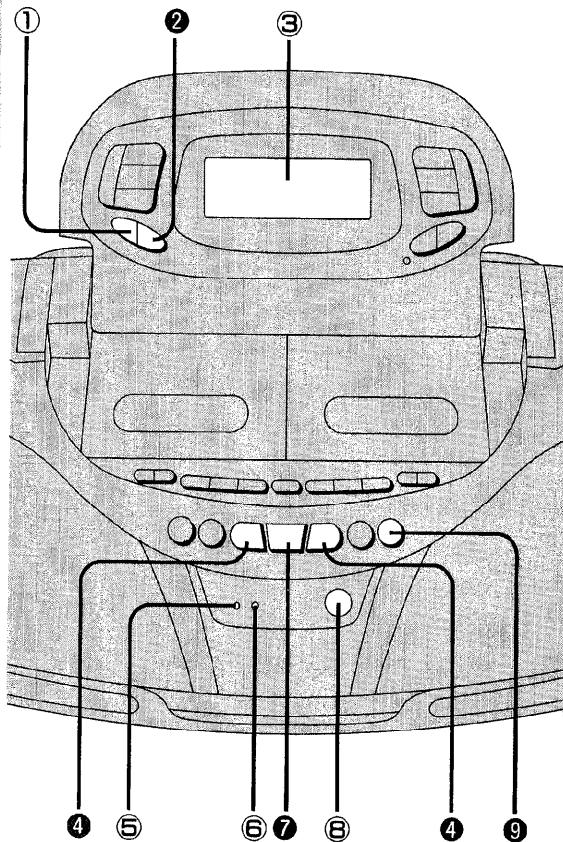
- ・長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。
- ・本体電源をいつも家庭用コンセントで使用するときは、電源用乾電池を取り出しておく。
- ・新しい乾電池と使用した乾電池は混用しない。
- ・違う種類(マンガンとアルカリなど)の乾電池は混用しない。
- ・充電をしない。
- ・ \oplus プラスと \ominus マイナスは正しく入れる。
- ・火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしない。

各部のなまえ

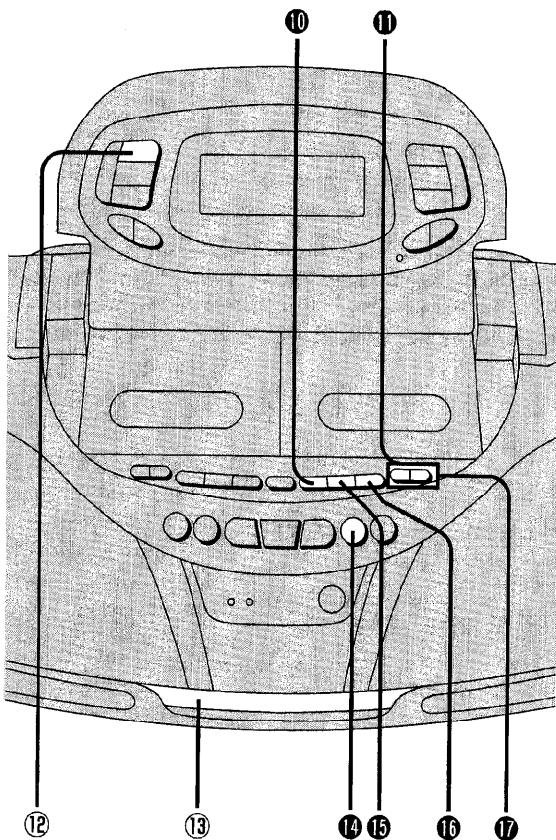
白ヌキ数字(②など)のボタンは、リモコンに同じ機能のボタンがあります。

共通部

操作前に



ラジオ・CD部

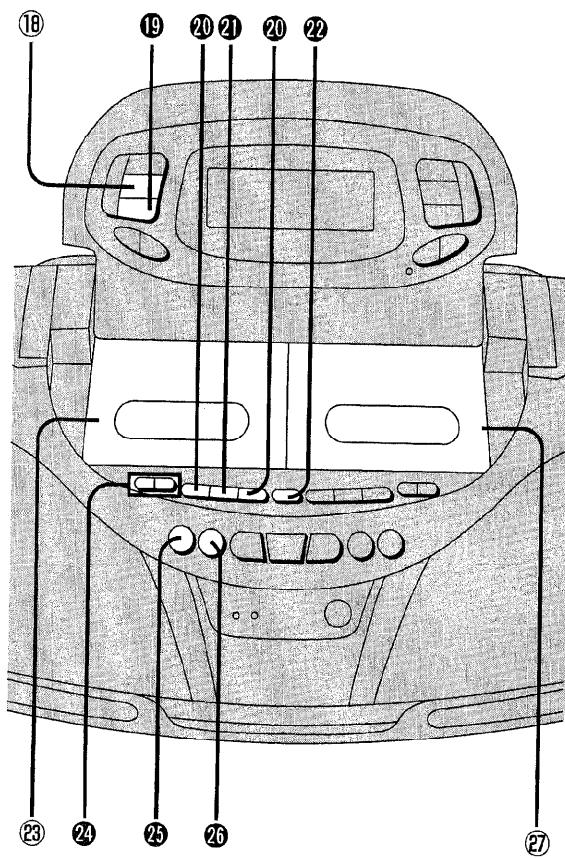


番号	なまえ	参照ページ
①	タイマーボタン (TIMER)	41,43
②	プリセットトコライザーボタン (PRESET EQ)	25
③	表示部	52
④	音量調整ボタン (VOL-, VOL+)	9
⑤	電源/電池寿命確認表示 (POWER/BATT)	5
⑥	マジカルコブラトップ表示 (MAGICAL COBRA TOP)	9
⑦	電源ボタン (POWER)	9
⑧	リモコン受光部 (SENSOR)	5
⑨	コブラトップ開閉ボタン (COBRA TOP OPEN/CLOSE)	8

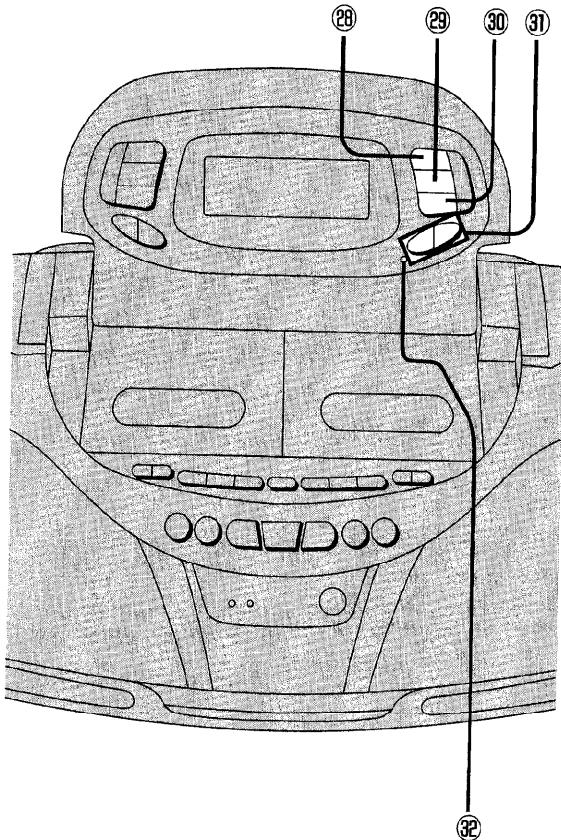
番号	なまえ	参照ページ
ラジオ部		
⑩	チューナー/バンド切換ボタン (TUNER/BAND)	12,14
⑪	選局ボタン (TUNING/CD -/◀◀・▶▶/+)	15
CD部		
⑫	自動CD録音ボタン (AUTO CD RECORD)	28
⑬	CDトレイ	17
⑭	CDトレイ開閉ボタン (CD OPEN/CLOSE)	17
⑮	演奏/一時停止ボタン (▷/□)	17
⑯	CD停止/クリアボタン (□/CLEAR)	17
⑰	とび越し、早送り、早戻しボタン (TUNING/CD -/◀◀・▶▶/+)	18

各部のなまえ

テッキ部



メニュー操作部



操作前に

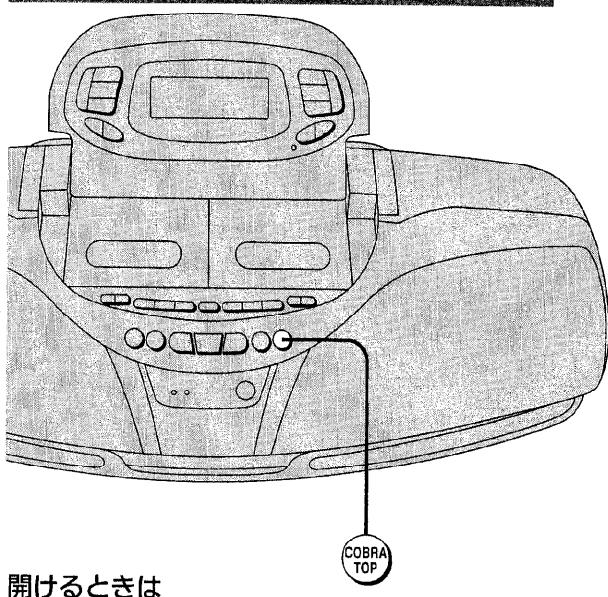
番号	なまえ	参照ページ
⑯	テープ編集録音ボタン (TAPE EDIT)	39
⑰	録音/録音待機ボタン (REC PAUSE)	36,38
㉑	演奏ボタン (< REV, FWD >)	22
㉒	テープ停止ボタン (□)	22
㉓	デッキ1/2切換ボタン (DECK1/2)	22
㉔	デッキ1カセットふた (DECK1)	22
㉕	頭出し/早送り/巻戻しボタン (<< [TPS] >>)	24
㉖	デッキ1カセットふた開閉ボタン (DECK1 OPEN/CLOSE)	39
㉗	デッキ2カセットふた開閉ボタン (DECK2 OPEN/CLOSE)	22
㉘	デッキ2カセットふた (DECK2)	22

番号	なまえ	参照ページ
㉙	メインメニュー 選択ボタン (MAIN MENU SELECT)	52
㉚	サブメニュー 選択ボタン (SUB MENU SELECT)	52
㉛	設定ボタン (SET)	52
㉜	設定メニュー選択ボタン (-/REV,FWD/+)	52
㉝	設定メニュー選択表示	52

コブラトップパネルについて

開けるときは

操作前に



開けるときは



COBRA TOP OPEN/
CLOSEボタンを押し、コブラ
トップパネルを開ける

閉じるときは



COBRA TOP OPEN/
CLOSEボタンを押す

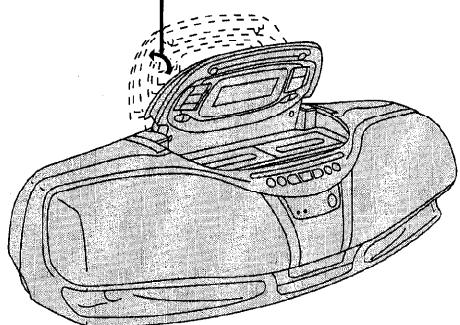
乾電池で使用中、電源切時にリモコンの COBRA
TOPボタンで開閉することはできません。

電源を入れてから、操作してください。

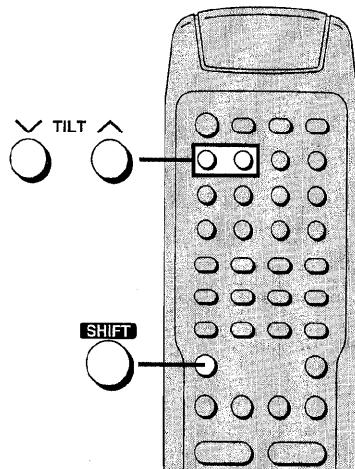
見やすい角度に調整する

コブラトップパネルの角度を調節することができます。

約45°の範囲で調整できます。



リモコンのみ



手前に傾ける



SHIFTボタンを押しながら、
▼ TILTボタンを押す

向こう側に傾ける



SHIFTボタンを押しながら、
TILT ▲ ボタンを押す

ご注意

コブラトップパネルが完全に閉じているときは、一度COBRA
TOP OPEN/CLOSEボタンで開けたあと、角度を調節して
ください。

コブラトップパネルについて

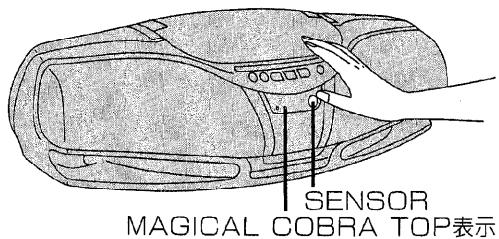
マジカルコブラトップ機能について

家庭用コンセントで使うときのみ

MAGICAL COBRA TOP表示点灯時にSENSORに手をかざすと、電源が入り、コブラトップが開いた後、前に聞いている音楽の演奏が始まります。

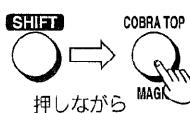
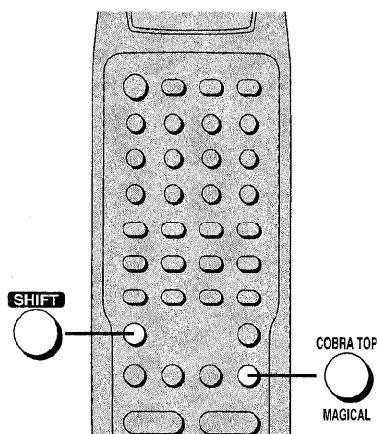
ご注意

電源が入っているときやコブラトップパネルが開いているときは、マジカルコブラトップ機能は働きません。(MAGICAL COBRA TOP表示は点灯しません。)

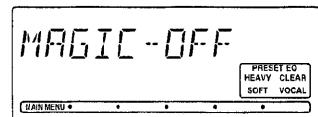


マジカルコブラトップ機能を使わないときは

リモコンのみ



コブラトップパネルを開けて、
SHIFTボタンを押しながら、
MAGICボタンを押す
MAGIC-OFF表示が出る



マジカルコブラトップ機能を使うときは、もう一度同じ操作をくり返してください。

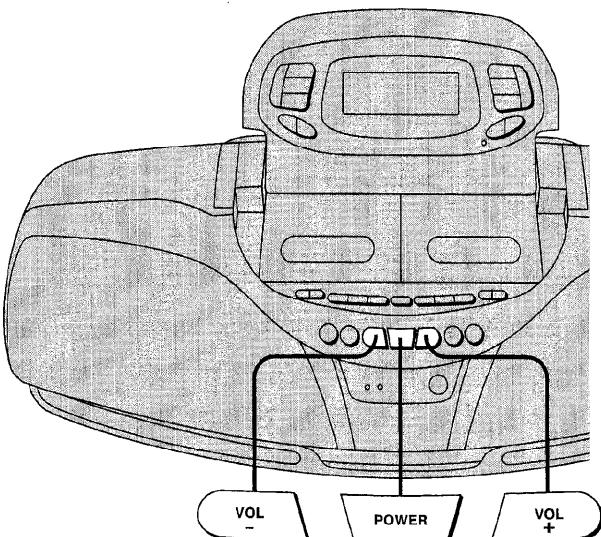
(“MAGIC-ON”を表示します。)

ご参考

光の反射を利用してますので、物を近づけても動作します。
物の色や形などにより動作する距離が変化します。
色が黒っぽい物は動作しないことがあります。

共通操作

基本の操作



電源を入/切する

電源入：



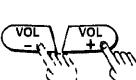
POWERボタンを押す

電源切：



POWERボタンを押す

音量を調整する



VOL-、VOL+ボタンを押し、
好みの音量にする

VOL+：音量が上がる

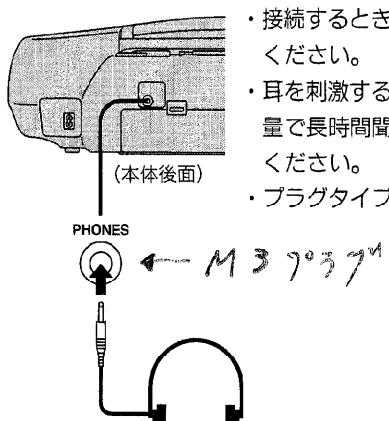
VOL-：音量が下がる

最小“--dB”から最大“0dB”の範囲で調整できます。

ご参考

電源切の状態でも、音量を調節することができます。

ヘッドホン（別売り）で聞くには



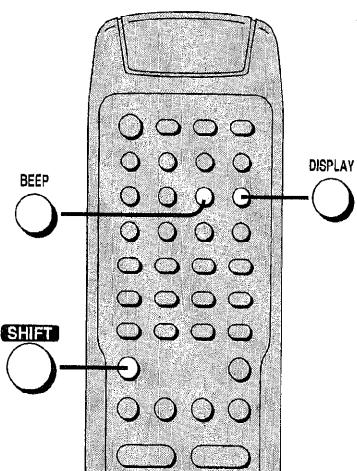
・接続するときは音量を下げてください。

・耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

・プラグタイプ：ステレオミニ

共通操作(つづき)

操作前に



確認音について(ビープトーン)

操作ボタンを押すと“ピッ”という確認音が出ます。
誤操作をしたときは“ピピッ”という警告音が出ます。
確認音を使わないときは **リモコンのみ**



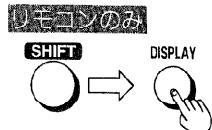
SHIFTボタンを押しながら、
BEEPボタンを押す。
“BEEP OFF”を表示します。

押しながら

- ・確認音を使うときは、もう一度同じ操作をくり返してください。（“BEEP ON”を表示します。）

現在時刻やリニアテープカウンターを表示させる

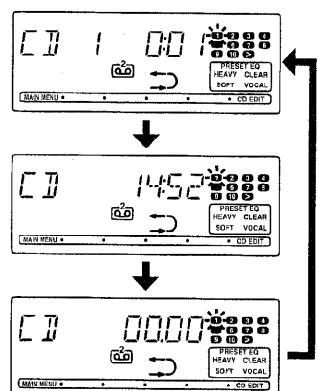
演奏中に現在時刻を確認したり、録音時にリニアテープカウンターでテープの残り時間を計算するときに便利です。



SHIFTボタンを押しながら、
DISPLAYボタンを押す
押すごとに表示が切り換わります。

押しながら

- 例：CD演奏のとき
1 演奏状態の表示

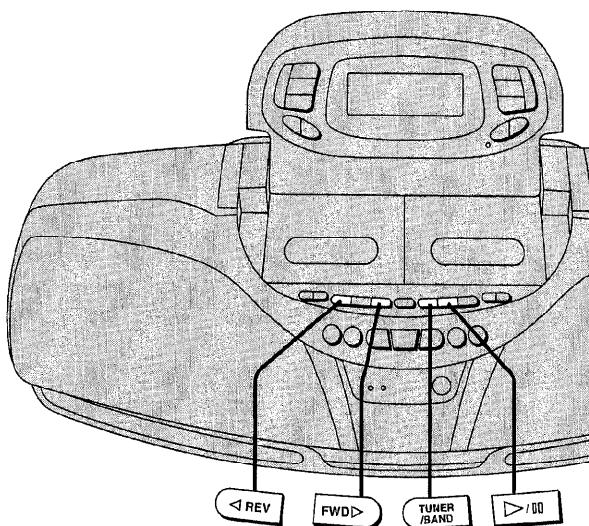


- 2 現在時刻の表示
3 リニアテープ
カウンター表示

- ・テープが入っていない場合、リニアテープカウンター表示は“----”になります。

ワンタッチで演奏する

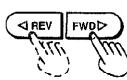
家庭用コンセントで使うときのみ



CDやテープを入れておくと、電源切の状態から、ボタンを押すだけで自動的に電源が入り、演奏が始まります。(ワンタッチプレイ)



CDを聞く



テープを聞く



ラジオを聞く

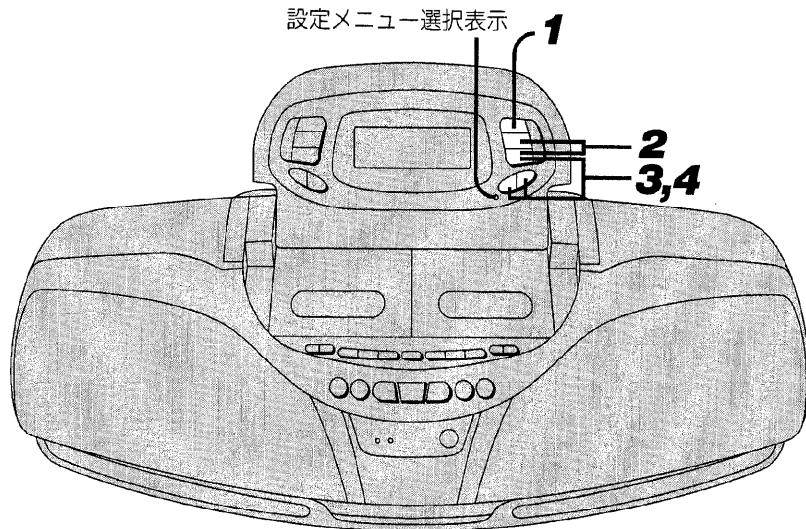
ご参考

- ・リモコンでも同様に演奏できます。
- ・乾電池を使うときでも電源入の状態なら、上記のボタンを押すだけで演奏できます。

時計を合わせる

時計は24時間表示です。

操作前に



例：TAPEのとき、16時20分に合わせる。

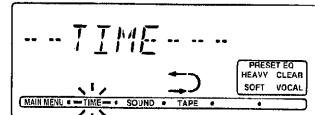
1



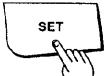
MAIN MENU SELECTボタンを押し、「TIME」を表示させる

—TAPE→TIME→SOUND—

(押すごとに表示が切り換わります。)



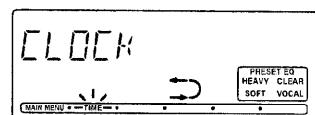
2



SUB MENU SELECTボタンを押し、「CLOCK」を表示させる

—TIMER→SLEEP→CLOCK—

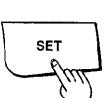
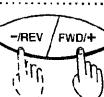
(押すごとに表示が切り換わります。)



SETボタンを押す

・設定メニュー選択表示が点滅

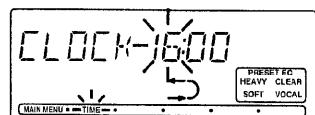
3



-/REV,FWD/+ボタンを押し、「時」(16)を表示させる

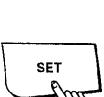
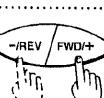
—1—2—3—15—16—23—0—

(押すごとに表示が切り換わります。)



SETボタンを押す

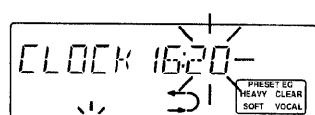
4



-/REV,FWD/+ボタンを押し、「分」(20)を表示させる

—01—02—03—19—20—59—00—

(押すごとに表示が切り換わります。)



SETボタンを押す

時計が動き始め、表示部は元の表示に戻ります。

操作を間違えたときは

1 MAIN MENU SELECTボタンを押す。

2 手順1からやり直す。

ご参考

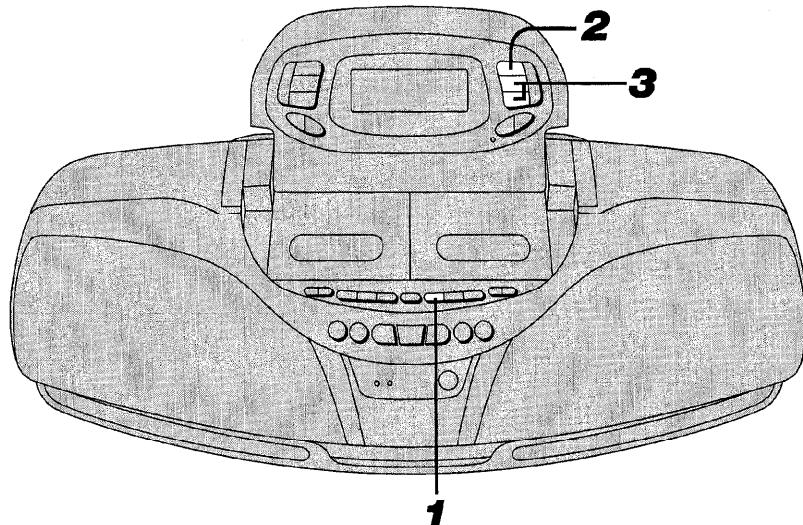
正確に合わせるときは、手順4で「分」を表示させた後、時報117とともにSETボタンを押します。

放送局を記憶させる

記憶させておくと、本体/リモコンで簡単に選局できます。(FM, AM それぞれ10局までプリセットチャンネルに記憶できます。)

自動で放送局を記憶させる(オートメモリー)

操作前に



例：FMの放送局を記憶させる。

アンテナをのばしておいてください。(☞16ページ)

1



TUNER/BANDボタンを押し、
「FM」を表示させる

AM→FM (TV)

(押すごとに切り換わります。)



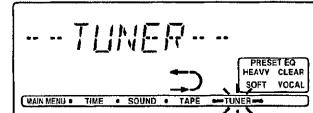
2



MAIN MENU SELECTボタンを
押し、「TUNER」を表示させる

TUNER→TIME→SOUND→TAPE

(押すごとに表示が切り換わります。)



3

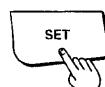


SUB MENU SELECTボタンを
押し、「AUTO-MEMO」を表示させ
る

AUTO-MEMO→TUNE MODE

ST/MONO

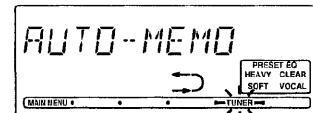
(押すごとに表示が切り換わります。)



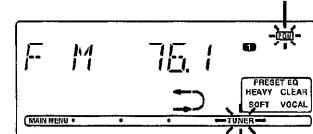
SETボタンを押す

周波数が動き始め、受信した放送局を次々に記憶して
いきます。(PGM 表示が点滅する。)

オートメモリーが終わると、プリセットチャンネル 1
に記憶させた放送局を受信します。(PGM 表示が点灯
する。)



点滅



- 放送局を記憶できないときは前に記憶した放送局が保持されます。

■AMの放送局を記憶させる

本体の向きを合わせてください。(☞16ページ)

1 手順1で「AM」を表示させる。

2 手順2、3を行う。

テレビ音声(1~3チャンネル)は

FMをオートメモリーしたとき同時に記憶されます。

ご注意

- オートメモリーで新たにプリセットチャンネル 1 に記憶すると、
前に記憶していた全ての放送局は消えます。
- 海外で、オートメモリーを使用することはできません。

こんなときは手動で記憶させてください (☞18ページ)

- 電波が弱くてオートメモリーされないとさ
- 電波が強くて周波数がずれるとさ
- FM90.0MHzを超える周波数を記憶させたいとき

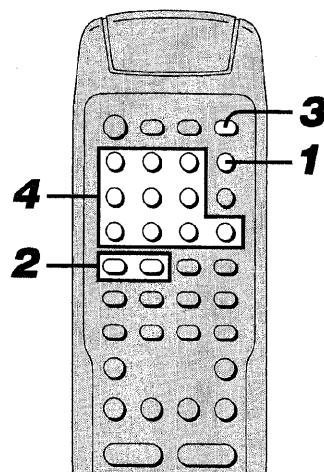
放送局を記憶させる

手動で記憶させる(マニュアルメモリー)

好みのプリセットチャンネルに好みの放送局を記憶させることができます。

リモコンのみ

操作前に



例：FM88.1MHzをプリセットチャンネル3に記憶させる。

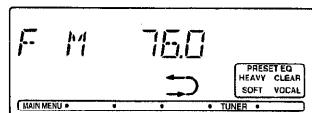
1



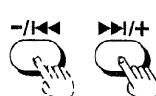
TUNER/BANDボタンを押し、
「FM」を表示させる

AM→FM (TV)

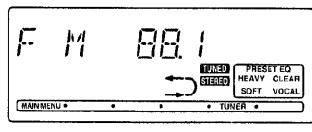
(押すごとに切り換わります。)



2



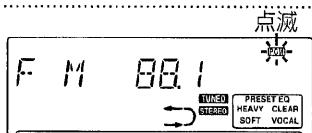
-/◀◀・▶▶/+ボタンを押して、放送
局を選ぶ



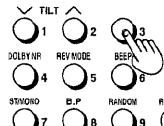
3



PROGRAMボタンを押す



4



数字ボタン(1~10/0)を押して、プリ
セッチャンネルを選ぶ

プリセッチャンネルが表示されます。



5

手順2~4をくり返して、他の放送局を
記憶させる

■AMの放送局を記憶させる

1 手順1で「AM」を表示させる。

2 手順2~5を行う。

■テレビ音声(1~3チャンネル)を記憶させる

FMの放送局を覚えさせる手順に従い、1ch~3chを選
ぶ

-/◀◀・▶▶/+ボタンを押していくと、FMの周波数表示
の間に出てきます。

95.7-1ch- 95.8

101.7-2ch-101.8

107.7-3ch-107.8

■自動で放送局を選ぶには

-/◀◀・▶▶/+ボタンを押し続けて、周波数表示が動き始めたら
手を離す。受信状態のよい放送局を自動的に選んで止まります。

途中で止めるには

もう一度 -/◀◀・▶▶/+ボタンを押す。

周辺に妨害電波があると、放送局を受信せずに停止することがあります。この場合は -/◀◀・▶▶/+ボタンをポンポンと押して選局してください。

ご注意

放送局を選ぶとき、周波数は正しく合わせてください。新聞の番組欄などで確認できます。

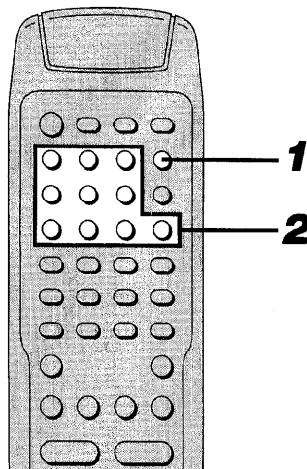
プリセッチャンネルに新たにマニュアルメモリーすると、前に記憶させた放送局は消えます。

ラジオ放送を聞く

記憶させた放送局を聞く（プリセットチューニング）

「放送局を記憶させる」をお済ませ
ください。（P.12、13ページ）

リモコンで



演奏

1



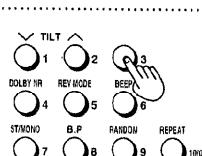
TUNER/BANDボタンを押し、
「FM」または「AM」を表示させる

→AM→FM (TV)

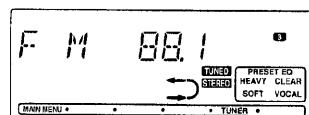


(押すごとに切り換わります。)

2



数字ボタン（1～10/0）を押し、記憶
させた放送局を選ぶ

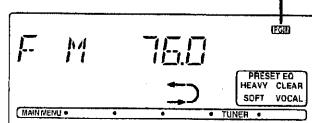


本体で

1 選局方法をPRESETにする（P.55ページ）

（PGM）表示が点灯する。)

点灯



2 TUNER/BANDボタンを押して、「FM」または「AM」
を表示させる

3 -/-><・>>/+ ボタンを押し、放送局を選ぶ

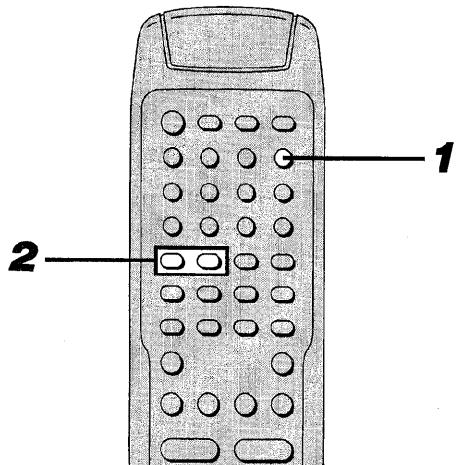
ご注意

オートメモリーで放送局を記憶させると、本体の選局方法は自動的にPRESETになります。

ラジオ放送を聞く

記憶させてない放送局を聞く(マニュアルチューニング)

リモコンで



演奏

1

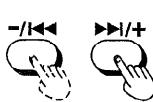


TUNER/BANDボタンを押して
「FM」または「AM」を表示させる
→AM→FM (TV)

(押すたびに表示が切り換わります。)



2

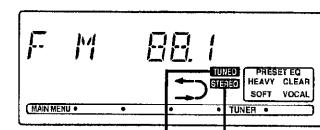


-/◀◀・▶▶/+ ボタンを押して放送
局を選ぶ

▶▶/+ : 周波数が上がる

-/◀◀ : 周波数が下がる

- 押し続けて、周波数表示が動き始めたら手を離す。受信状態のよい放送局を自動的に選んで止まります。(自動選局)

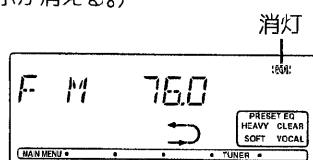


放送局を受信すると点灯
(電波が弱いと点灯しないことがあります。)

FM/AMステレオ放送を受信すると点
灯

本体で

- 選局方法をMANUALにする (☞55ページ)
(PGM表示が消える。)



- 2 TUNER/BANDボタンを押して、「FM」または「AM」を表示させる

- 3 -/◀◀・▶▶/+ ボタンを押し、放送局を選ぶ

自動選局を途中で止めるには

もう一度 -/◀◀・▶▶/+ ボタンを押す。

周辺に妨害電波があると、放送局を受信せずに停止することがあります。

この場合は -/◀◀・▶▶/+ ボタンをポンポンと押して選局してください。

ご注意

- AMモノラル放送受信時でも雑音などにより STEREO 表示が点灯する場合はモノラル受信に切り換えてください。
- 本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時に、FM放送が混信することがあります。

周波数表示のステップについて

周波数表示は次のステップで切り換わります。

FM : 0.1MHzステップ

AM : 9kHzステップ

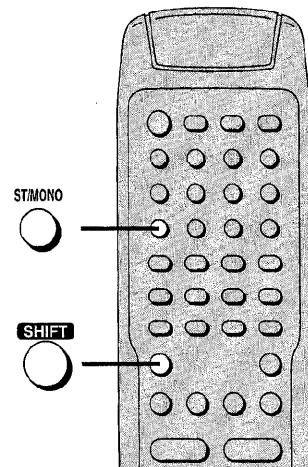
ご参考

AMステレオ放送を受信できます。(ステレオ放送を実施していない放送局もあります。)

ラジオ放送を聞く(つづき)

よりよい受信のために

演奏

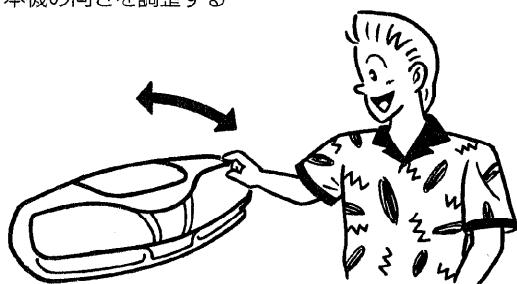


■アンテナを調整する

- ・FM放送受信のとき
ホイップアンテナの長さと向きを調整する



- ・AM放送受信のとき
本機の向きを調整する



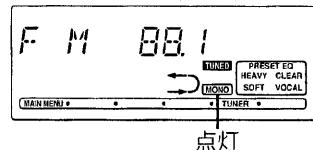
■FM,AMステレオ放送で雑音が多いときは 音声をモノラルにして雑音を少なくする。

リモコンで

例：FMステレオ放送受信中



SHIFTボタンを押しながら、
ST/MONOボタンを押す



点灯

- ・ステレオに戻すときはもう一度同じ手順をくり返して [MONO] 表示を消す。
- ・AMステレオ放送受信中も同じ操作を行う。

ご注意

モノラルのときはステレオ放送受信中でも STEREO 表示は点灯しません。

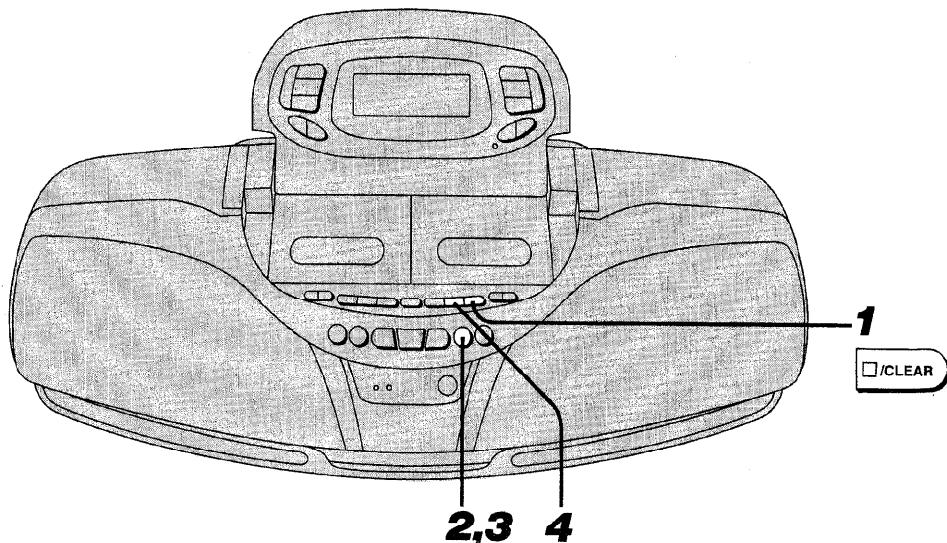
ご参考

本体のメニュー操作でステレオ/モノラルの設定ができます(☞55ページ)。

ご参考

乗物や建物の中では電波が弱るために放送が聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお聞きください。雑音が減らないときは市販の外部アンテナをご使用ください。(☞47ページ)

CDを聞く



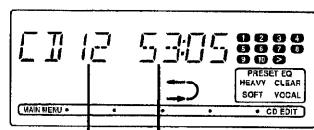
1 □/CLEARを押す



2 CD OPEN/CLOSEボタンを押してトレイを開け、CDを入れる



3 CD OPEN/CLOSEボタンを押して、トレイを閉める

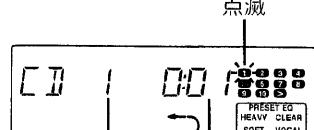


総曲数 総演奏時間

4 ▶/■を押して、演奏を始める



1曲目から最終曲まで順に演奏して、自動停止します。



点滅

演奏曲番
曲ごとの演奏経過時間

演奏を止めるには



□/CLEARボタンを押す

“▶”が表示されたら

11曲以上入ったCDを入れたとき点灯します。

ご注意

CDをラジオやテレビの近くで演奏すると、ラジオやテレビに雑音が入るときがあります。そのときはできるだけ離してください。

ご参考

- ・CDを入れたあと、▶/■ボタンを押すと、自動的にトレイが閉まり、演奏が始まります。
- ・CDトレイが出た状態で電源を切ると、自動的にトレイが閉まつた後、電源が切れます。

一時的に演奏を止めるには

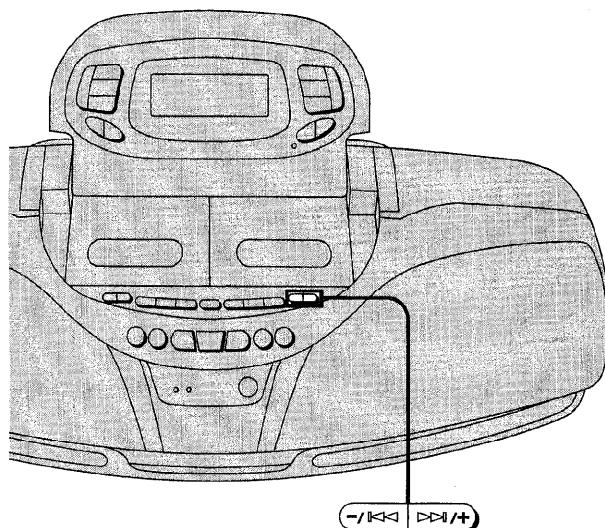
▶/■ボタンを押す

再び演奏するには

もう一度 ▶/■ボタンを押す

“NO DISC”, “PANASONIC”が表示されたら
CDが入っていません。

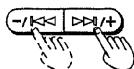
CDを聞く(つづき)



演奏

曲をとび越す (スキップ)

演奏中に



>>FF/+ を押して、次の曲の頭へとび越す
-/FF/- を押して、今の曲の頭へとび越す

同じ操作をくり返すと、押した回数だけとび越します。

ご注意

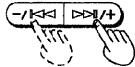
ランダムプレイ (☞21ページ) 中は、演奏し終わった曲へとび越すことはできません。

ご参考

プログラムプレイ (☞20ページ) 中は、予約した曲の順序で前後にとび越します。

早送り、早戻しする (サーチ)

演奏中に

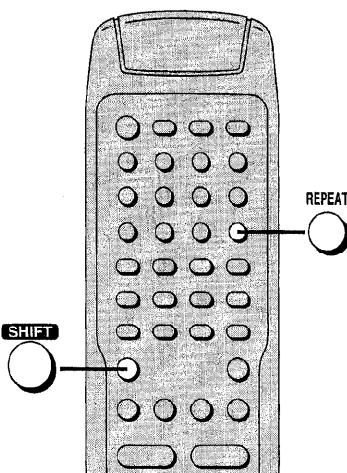


>>FF/+ を押し続けて、早送りする
-/FF/- を押し続けて、早戻しする

好みの位置で指を離す。

ご参考

プログラムプレイ (☞20ページ) 中やランダムプレイ (☞21ページ) 中は、演奏中の曲の中だけ早送り、早戻しできます。

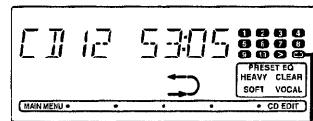


曲をくり返し聞く (リピート)

リモコンのみ



演奏前、または演奏中に
SHIFTボタンを押しながら、
REPEATボタンを押す



点灯

解除するには

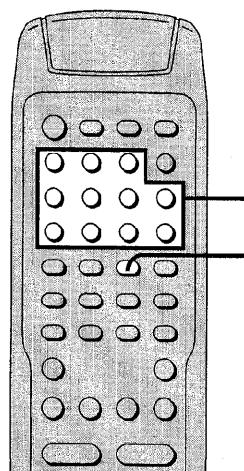
もう一度同じ手順をくり返し、表示を消す。

ご参考

- ・プログラムプレイ (☞20ページ) 中は、予約曲だけをくり返します。
- ・1曲だけを予約しておくと、同じ曲をくり返し楽しむことができます。
- ・プログラムプレイを解除すると、リピートの設定も解除されます。

好みの曲から聞く(ダイレクトプレイ)

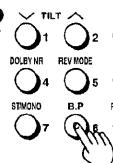
リモコンで



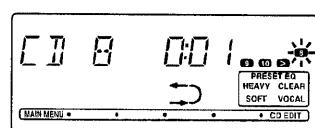
例：曲番8から演奏する

1

CDの■ボタンを押して、CDに切り換える

2

数字ボタン(1~10/0,+10)を押して、好みの曲番を選ぶ



選んだ曲番から最終曲まで順に演奏して自動停止します。

■曲番10以上を選ぶには

例：曲番13

○ +10 → ○ 3

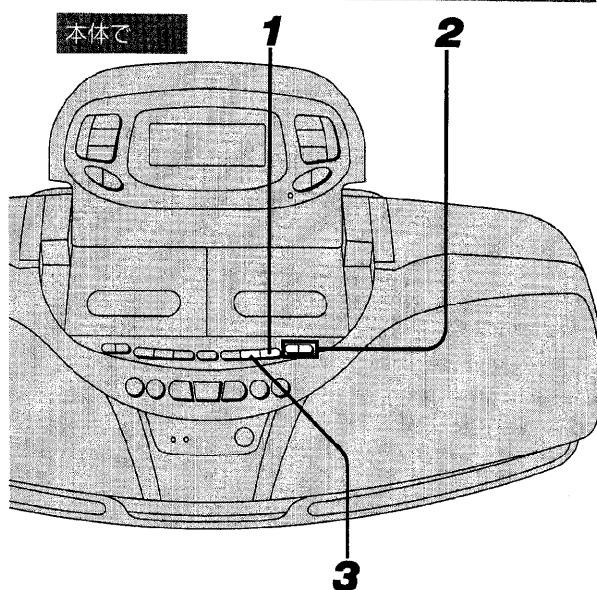
曲番20

○ +10 → ○ +10 → ○ 10/0

曲番35

○ +10 → ○ +10 → ○ +10 → ○ 5

本体で

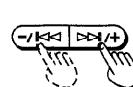


演奏

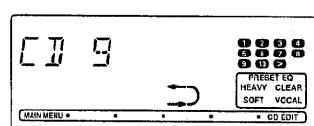
例：曲番9から演奏する

1

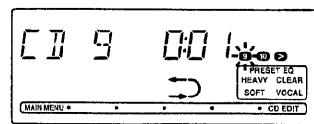
□/CLEARボタンを押して、CDに切り換える

2

-/◀・▶/+ボタンを押して、曲番「9」を表示させる

**3**

▶/+ボタンを押して演奏を始める



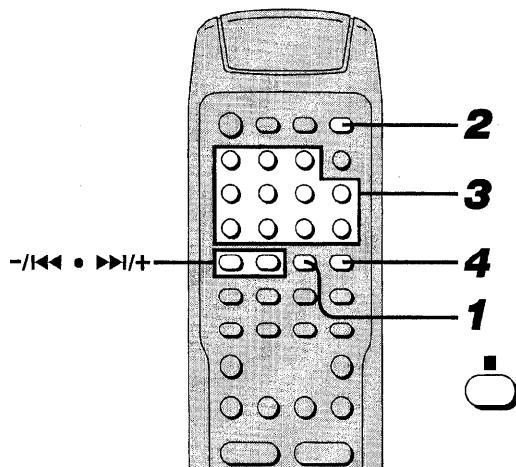
選んだ曲番から最終曲まで順に演奏して自動停止します。

CDを聞く(つづき)

好みの曲を選んで聞く(プログラムプレイ)最大36曲まで予約できます。

リモコンのみ

演奏



例：曲番3を選ぶ

1



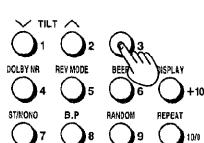
CDの■ボタンを押す

2



PROGRAMボタンを押し、PGMを点灯させる

3



数字ボタン(1~10/0,+10)を押し
て、好みの曲番を選ぶ

手順3をくり返す(自動的に予約されます。)

●曲番10以上を選ぶには(☞P19ページ)

4



▶/IIボタンを押して、演奏を始める

予約した曲を予約順に演奏して自動停止します。

解除するには



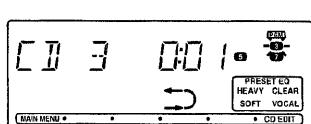
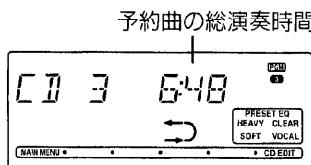
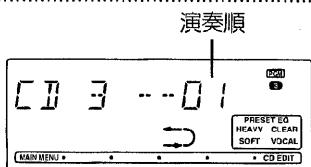
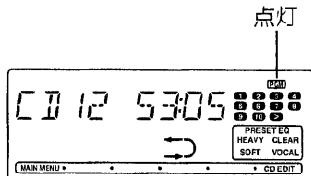
停止中に

CDの■ボタンを押し、PGM表示を消す(演奏中は2度押す)
CLEAR表示が出て、予約した曲が取り消されます。

■予約した内容を確認するには

停止中に -/+・◀・▶ボタンを押す
押すごとに曲番と演奏順が確認できます。

“FULL”と表示されたら
予約曲が36曲を超えた。これ以上予約できません。



CDを聞く

“---:---”と表示されたら

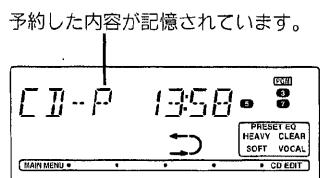
予約曲の総演奏時間が120分を超えるました。ただし予約や演奏はできます。

“▶”が表示されたら

曲番以上以上の曲が予約されました。(操作に変わりありません。)

予約曲のメモリーについて

予約した内容は、途中で演奏を停止したり、電源を切っても記憶しています。

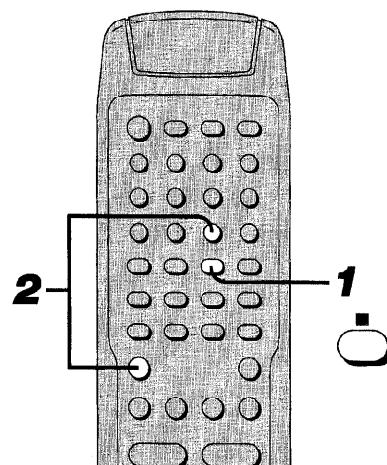


次のようなときに予約した内容は取り消されます。

- ・CD OPEN/CLOSEボタンを押したとき
- ・メモリー用乾電池を入れずに、電源コードを抜いたり、電池を取り出したとき。

順不同に聞く (ランダムプレイ)

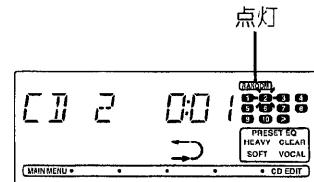
リモコンのみ



演
奏

1 CDの■ボタンを押す

2 SHIFTボタンを押し
ながら、RANDOMボ
タンを押す



順不同に全曲演奏して自動停止します。

解除するには



CDの■ボタンを押し、RANDOM表示を消す

ご注意

プログラムプレイと組み合わせて演奏することはできません。

テープを聞く

ノーマル、クローム、メタルテープが使えます。

テープの種類を自動的に判別します。

デッキ1、2のどちらでも再生できます。

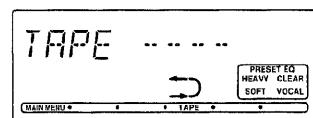


例：デッキ2で再生する

1



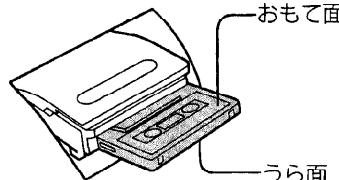
テープの□ボタンを押して、テープに切り換える



2



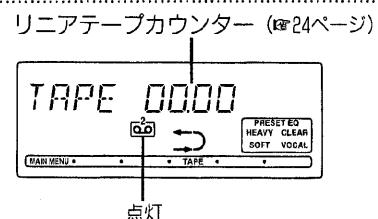
DECK2 OPEN/CLOSEボタンを押してカセットふたを開け、テープを入れる



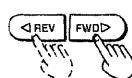
3



DECK2 OPEN/CLOSEボタンを押してカセットふたを閉める



4



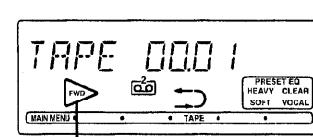
△REV、FWD△ボタンを押す

FWD△ : おもて面から

(FWD PLAY表示の後、再生開始)

△REV : うら面から

(REV PLAY表示の後、再生開始)



おもて面再生表示

演奏を止める



TAPEの□ボタンを押す

再生できるテープ

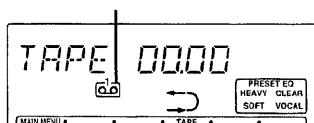
テープの種類を自動的に判別します。

Normal/TYPE I	<input type="radio"/>
Cromo/TYPE II	<input type="radio"/>
METAL/TYPE IV	<input type="radio"/>

■両デッキにテープが入っているときは

DECK1/2ボタンを押して、再生するデッキを選ぶ。

(表示の点灯しているほうが操作できるデッキです。)



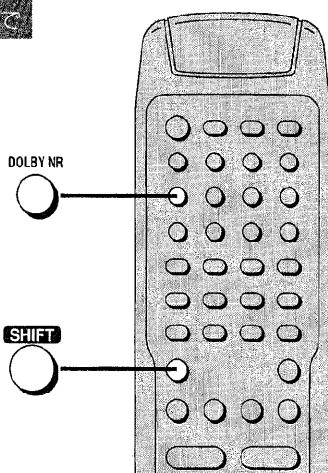
ご参考

テープの再生中に使用していないデッキで早送り/巻き戻しができます。DECK1/2ボタンでデッキを選び操作してください。操作の後、DECK1/2ボタンを押して再生中のデッキの表示を点灯させてください。

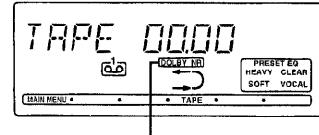
テープを聞く

ドルビーNRを選ぶ

リモコンで



SHIFTボタンを押しながら、
DOLBY NRボタンを押す



点灯

■ドルビーNRを解除するには

上記と同じ手順をくり返して [DOLBY NR] 表示を消す

ご参考

本体のメニュー操作を使って、ドルビーNRを選ぶこともできます。
(☞54ページ)

ドルビーNRについて

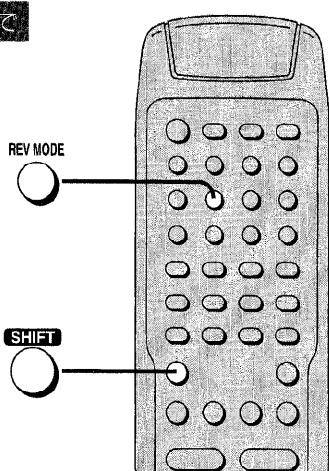
「サー」というテープ特有のノイズを減らすシステムです。録音時に高い周波数部分のレベルをあげ、再生時に元に戻します。本機はノイズを約1/3にするドルビーNRのBタイプを搭載しています。

- ・ドルビーNRの効果は、録音時と再生時に使うことによって得られます。
- ・「ドルビーNR」とだけ表示された市販のテープや機器はBタイプです。

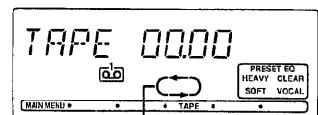
ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルロゴ記号 はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

リバースモードを選ぶ

リモコンで



SHIFTボタンを押しながら、
REV MODEボタンを押し、
リバースモードを選ぶ



(押すごとに表示が切り換わります。)

→ : おもて面からうら面を再生して自動停止

↔ : 停止ボタンを押すまで両面をくり返し再生（両デッキにテープが入っているときは両方のテープを連続再生）

← : 片面だけ再生して自動停止

ご参考

本体のメニュー操作を使って、リバースモードを選ぶこともできます。(☞54ページ)

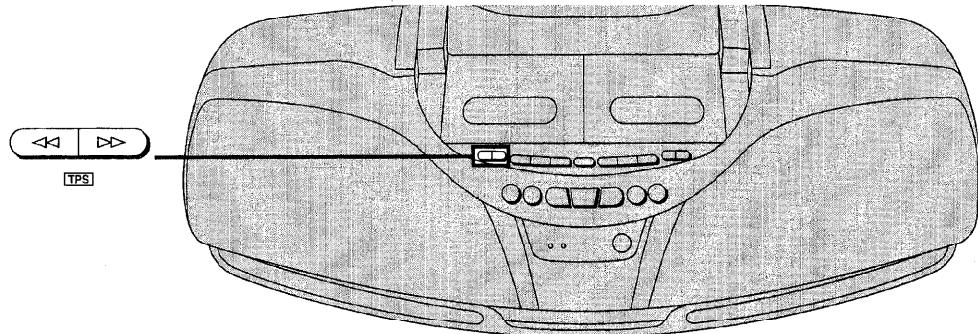
■2本のテープを続けて聞くには

TAPEの□ボタンを押すまで連続演奏します。

- 1 デッキ1、デッキ2にテープを入れる。
- 2 リバースモード (↔) を選ぶ。
- 3 DECK1/2ボタンで再生を始めるデッキを選ぶ。
- 4 ◀REV、FWD▶ボタンを押して再生を始める
FWD▶ : おもて面から
◀REV : うら面から
- ・ドルビーNRの設定はデッキ1と2で別々にすることはできません。同じ設定（オンまたはオフ）で録音されたテープの使用をおすすめします。

演奏

テープを聞く(つづき)



演奏

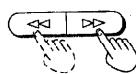
曲の頭出しをする (TPS)

再生中に、押した数だけ曲をとび越して、頭出しをします（前後9曲まで）。

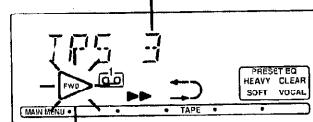
例：



おもて面再生中 (▷表示点灯)

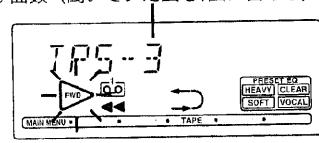


▷ボタンを押した数だけ、前進して頭出しする
とび越す曲数



<>ボタンを押した数だけ、後退して頭出しする

とび越す曲数 (聞いていた曲も1曲に含める)



・うら面再生中 (◁表示点灯) は、反対のボタンを押す。

ご注意

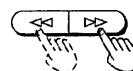
曲の頭出しには、曲と曲の間の無音部を利用するため、次のようなときには正常に働かないことがあります。

- ・テープの曲間が4秒以下のとき
 - ・テープに無音部がないとき（マイクから録音したときなど）
 - ・曲のなかで特にレベルの低いところや無音部があるとき（クラシックなど）
 - ・曲が始まって10秒以下のとき。次の曲の頭までが10秒以下のとき一方のデッキで曲の頭出し中は、もう一方のデッキの開閉や早送り、巻き戻し操作はしないでください。
- 正しく曲をとび越せないことがあります。

ご参考

頭出しができるように無音部分を作つて□□を録音したいときは、オーストスペースを設定してから編集録音してください。（☞55ページ）

早送り、巻き戻しをする



停止中に

<><>ボタンを押す

矢印 (<><>) の方向に早送り・巻き戻しをします。

高速での早送り、巻き戻し

テープの始めから早送りするとときやテープの終わりから巻き戻すときは高速（通常の約2倍）で行います。

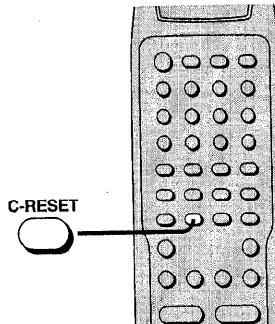
・ラジオに切り換えてお使いのときは、高速になりません。

通常の速度で早送り、巻き戻しするとき

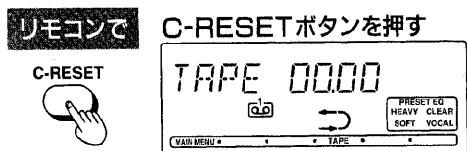
高速になってから、もう一度同じ方向のボタンを押す

リニアテーブルカウンター

おおよその経過時間を表示します。再生中の曲の残り時間やテープの残り時間を計算する時に便利です。



リニアテーブルカウンターを00.00にする



ご参考

本体のメニュー操作で、リニアテーブルカウンターを00.00にすることもできます。（☞54ページ）

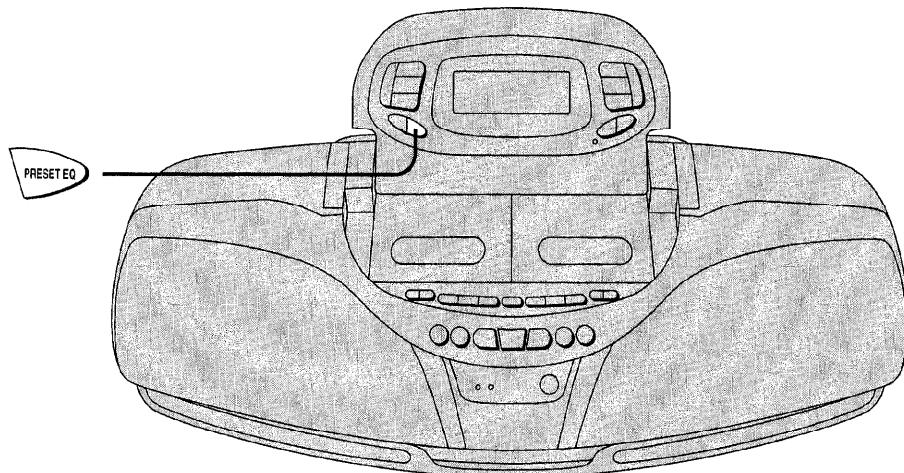
ご注意

本機のリニアカウンターは時計ではありません。使用するテープの長さや種類などによって、実際の録音、再生時間とカウンターの表示の間には誤差が生じます。

+2~3分ズレる。

音質を調整する

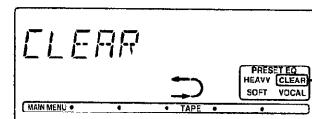
イコライザー効果を選ぶ 4種類のイコライザー効果をあらかじめ記憶しています。



PRESET EQボタンを押して、好みのイコライザー効果を選ぶ

→HEAVY→CLEAR→SOFT→VOCAL
EQ-OFF

(押すごとに表示が切り換わります。)



選んだイコライザー効果に表示が点灯

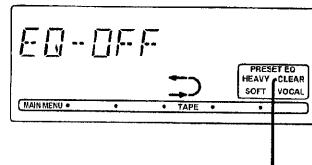
音質

イコライザー効果を使わないとき

(ソースどおりの音で楽しむ)



PRESET EQボタンを押して
'EQ-OFF' を表示させる



イコライザー効果を囲む表示が消える

■記憶しているイコライザー効果について

HEAVY (ヘビー)

ロックなどの音楽にパンチをきかせたいとき。

CLEAR (クリア)

音楽の高音部を強調したいとき。

SOFT (ソフト)

BGM的に楽しみたいとき。

VOCAL (ボーカル)

ボーカルを強調したいとき。

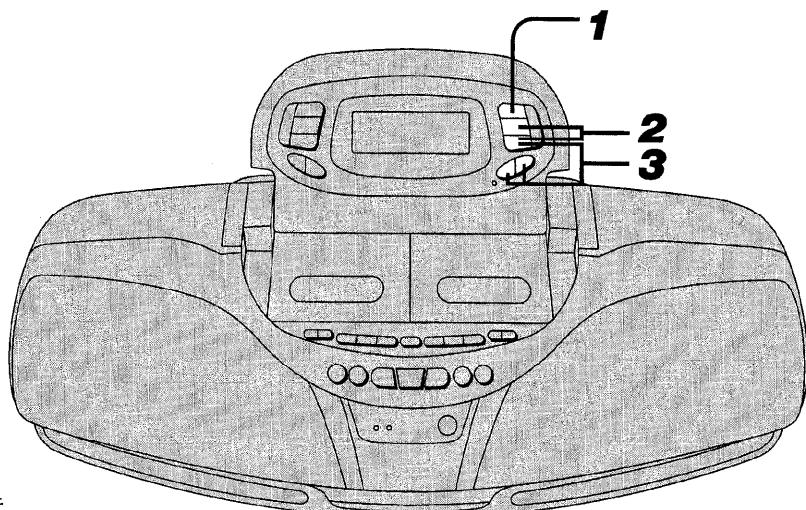
音質を調整する(つづき)

重低音を調整する

イコライザー効果と組み合わせて使うこともできます。

高音を調整する

イコライザー効果と組み合わせて使うこともできます。



音質

例: TAPEのとき

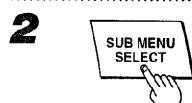


MAIN MENU SELECTボタンを押して、「SOUND」を表示させる

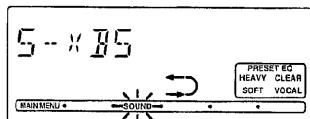


→TAPE→TIME→SOUND

(押すたびに表示が切り換わります。)

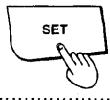


SUB MENU SELECTボタンを押して、「S-XBS」を表示させる



→S-XBS→TONE

(押すたびに表示が切り換わります。)

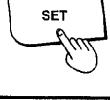


SETボタンを押す

-/REV, FWD/+ボタンを押して、好みのレベルを選ぶ
0から10まで11段階の調整ができます。

FWD/+ : レベルが上がる

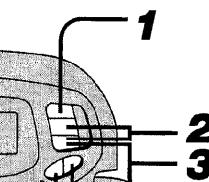
-/REV : レベルが下がる



SETボタンを押す

ご参考

イコライザー効果を使わないとき(EQ-OFFのとき) (25ページ)
のみ、手順3で選んだS-XBSのレベルは記憶されます。



イコライザー効果と組み合わせて使うこともできます。

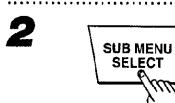


MAIN MENU SELECTボタンを押して、「SOUND」を表示させる

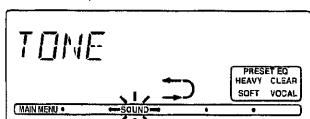


→TAPE→TIME→SOUND

(押すたびに表示が切り換わります。)

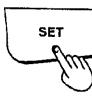


SUB MENU SELECTボタンを押して、「TONE」を表示させる



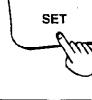
→S-XBS→TONE

(押すたびに表示が切り換わります。)



SETボタンを押す

-/REV, FWD/+ボタンを押して、好みのレベルを選ぶ
-5から5まで11段階の調整ができます。



FWD/+ : 高音が強調される
-/REV : 高音が弱められる

SETボタンを押す

ご参考

イコライザー効果を使わないとき(EQ-OFFのとき) (25ページ)
のみ、手順3で選んだTONEのレベルは記憶されます。

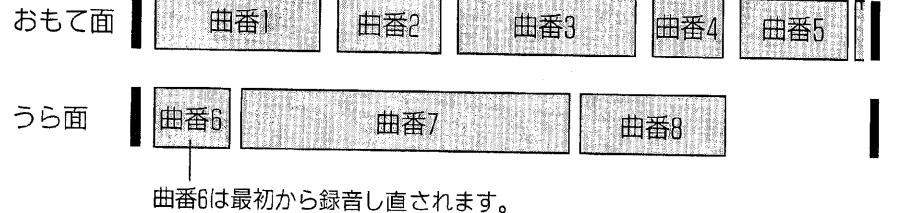
CDを録音する

ノーマル、クローム、メタルテープが使えます。
テープの種類を自動的に判別します。

CDの録音には、次のような方法があります。好みに合わせて使いわけてください。

簡単に録音(自動CD録音)(☞28ページ)

- 1本のテープに、曲順通りに全曲録音できます。
- おもて面のおわりで曲が途切れることがあります。途切れた曲はうら面の最初から録音し直されます。



■好みの曲を録音するときにも使えます。(☞29ページ)

■数枚のCDを1本のテープに録音するときにも使えます。(☞29ページ)

メニュー→編集

CD
1枚
から

CDを全曲編集

(☞30ページ)

(AI/FIT:
AI/フィットエディット)

好みの曲を選んで編集

(☞32ページ)

(MANUAL:
マニュアルエディット)

CD
数枚
から

数枚のCDを続けて編集

(☞34ページ)

(LINK:
リンクエディット)

- おもて面の終わりで曲が途切れません。
- テープの長さに合わせて曲順を入れ替え、録音します。

おもて面 | 曲番1 曲番2 曲番3 曲番4 曲番5 |

うら面 | 曲番6 曲番7 曲番8 |

- おもて面の終わりで曲が途切れません。

おもて面 | 曲番2 曲番3 曲番6 曲番5 曲番4 |

うら面 | 曲番7 曲番8 曲番4 |

- おもて面の終わりで曲が途切れません。

1枚目のCD → 2枚目のCD
おもて面 | 曲番1 曲番2 曲番3 曲番5 |

うら面 | 曲番1 曲番4 曲番1 曲番2 |

3枚目のCD → 4枚目のCD

エディット機能を使わずに録音したいとき(シンクロ録音)(☞36ページ)

- 演奏時間の長い曲を曲順通りに録音するときにも使えます。
- 録音したテープの残りにCDを録音するときにも使えます。
- テープの終わりで曲が途切れることがあります。

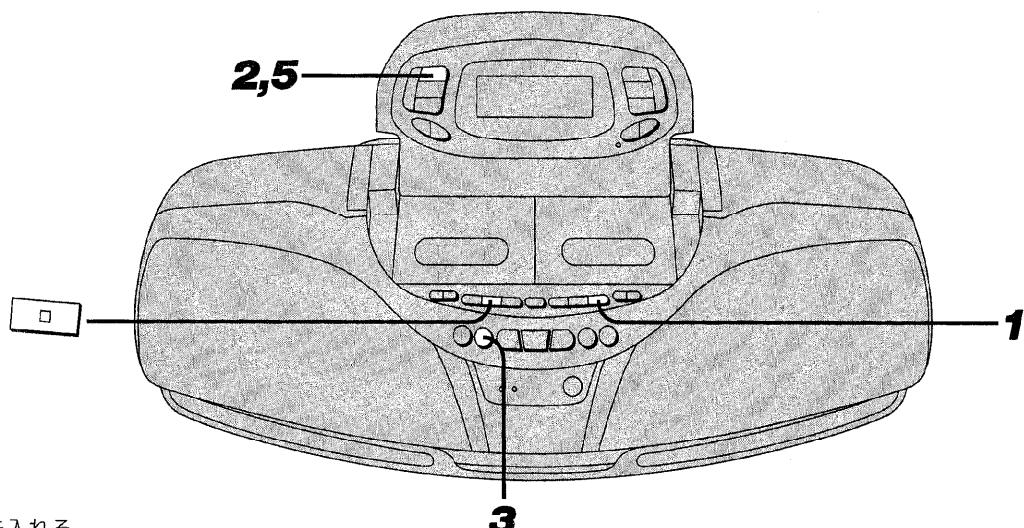
- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 録音中に音量や音質を変えても、録音には影響ありません。

録
音

CDを録音する(つづき)

テッキ2でのみ録音できます。

簡単に録音する (自動CD録音)



CDを入れる

1



□/CLEARを押す

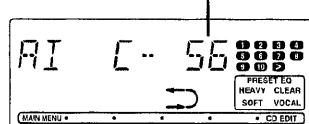
2



テープを入れる前に

AUTO CD RECORDボタン
を押して、全曲録音に必要なテープ
の長さを知る

全曲録音に必要なテープの長さ



3



DECK2 OPEN/CLOSEボタンを押して、
録音を始める面を上にして、手順2で
表示された長さより長いテープを入
れる



4

リモコンのSHIFTボタンを押しながら、DOLBY NR
ボタンを押して、
ドルビーNRを選ぶ (☞23ページ)

5

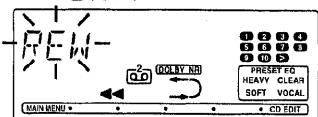


AUTO CD RECORDボタン
を押して、録音を始める

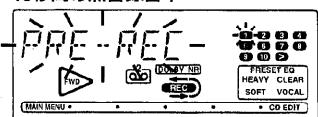
ボタンを押すと、テープを巻戻し、10秒間の無音
録音をした後、録音が始まります。

(録音レベルは自動的に設定されます。)

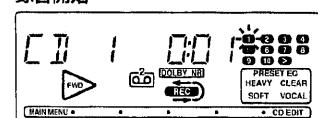
テープ巻戻し中



10秒間の無音録音中



録音開始



CDを録音する

録音を止めるには



TAPEの□ボタンを押す
□も同時に止まります。

録音できるテープ

テープの種類を自動的に判別します。

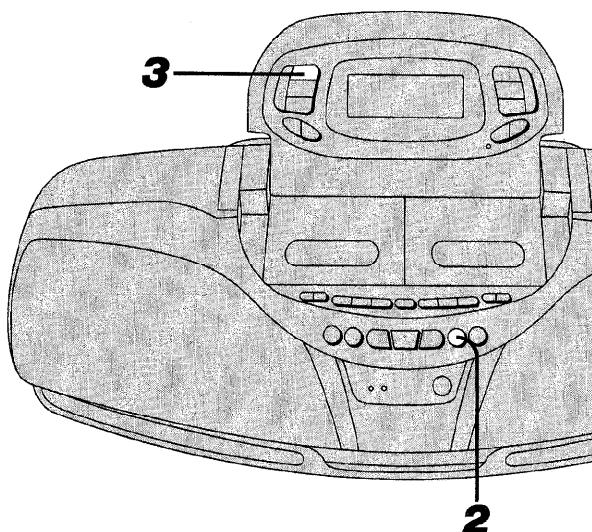
Normal/TYPE I	○
CrO ₂ /TYPE II	○
METAL/TYPE IV	○

参考

- リーダーテープを巻取る必要はありません。
- テープのリバースモードは自動的にになります。
- 大切な録音をするときは、乾電池の消耗によるトラブルを防ぐために、家庭用コンセントで使用するか、すべてあらし乾電池と交換しておくことをおすすめします。

“——”と表示されたら

37曲以上の□を入れたとき表示します。
このときは□の総演奏時間より長いテープを入れてください。
(テープの長さに余裕のないときは、録音しきれないことがあります。)



好みの曲を録音する

好みの曲を予約した(☞20ページ手順1~3)後、20ページの手順2~5を行う。

数枚の□を1本のテープに録音する

1枚目の録音終了後、テープに余裕があるとデッキは録音待機状態になります。

1

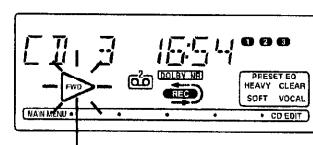
1枚目を録音する

録音

2



CD OPEN/CLOSEボタンを押して、CDを入れ換える

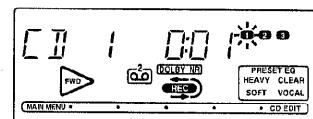


点滅

3



AUTO CD RECORDボタンを押す



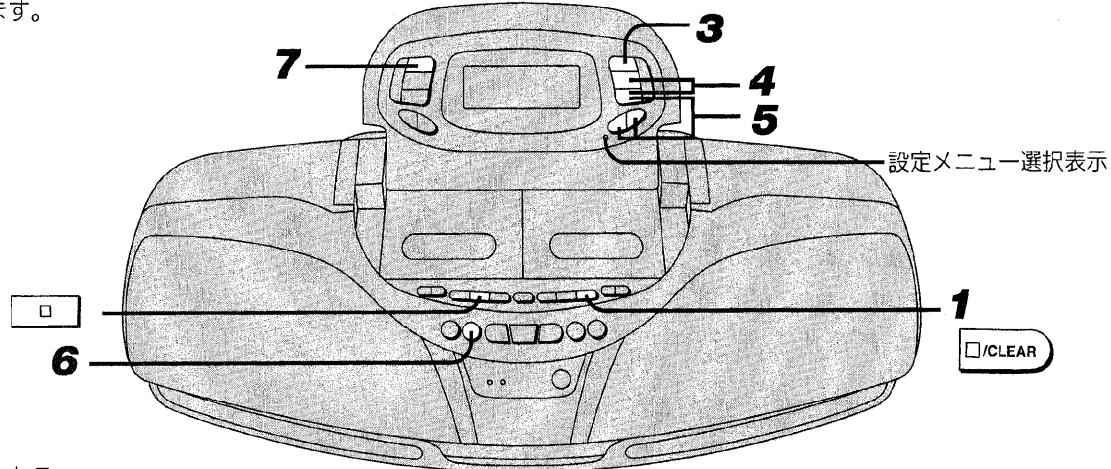
その場所から録音が始まります。

・続けて録音しないときは、TAPEの□ボタンを押して録音待機状態を解除してください。

CDを録音する(つづき)

CDを全曲編集録音する (AI/フィットエディット) 最大36曲入りのCDが可能です。

テープの長さに余裕があるときは、CDの曲順通りの録音になります。テープの長さによっては、曲順を入れ換えて全曲録音します。



CDを入れる

1 □/CLEARを押す

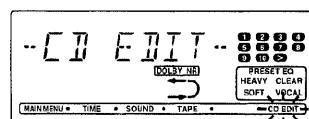
2 リモコンのSHIFTボタンを押しながら、DOLBY NRボタンを押して、
ドルビーNRを選ぶ (☞23ページ)

録音

3 MAIN MENU SELECTボタンを押し、「CD EDIT」を表示させる

→CD EDIT→TIME→SOUND→TAPE

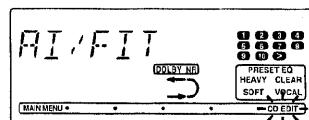
(押すごとに表示が切り換わります。)



4 SUB MENU SELECTボタンを押し、「AI/FIT」を表示させる

→AI/FIT→MANUAL→A-SPACE

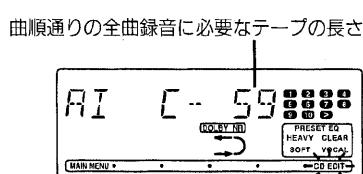
(押すごとに表示が切り換わります。)



SETボタンを押す

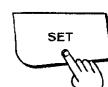
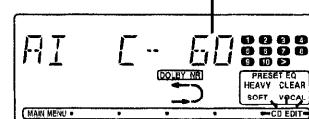
5 -/REV,FWD/+ボタンを押して、
使用するテープの長さを表示させる
→46→47→48→59→60→120→1→2

(押すごとに表示が切り換わります。)



・設定メニュー選択表示が点滅

59分以上必要なので60分に設定する



SETボタンを押す

●手順4で表示されたテープの長さより短く設定すると、曲順を入れ換えて編集します。

(テープの長さによっては、全曲録音できない場合があります。)

テープA面の残り時間 テープB面の残り時間



両面に録音できる曲

CDを録音する

6



DECK2 OPEN/CLOSEボタンを押し、テープを入れる

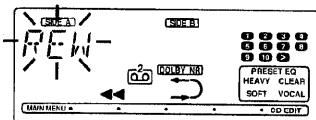
7



AUTO CD RECORDボタンを押して録音を始める

ボタンを押すと、テープを巻戻し、10秒間の無音録音をした後、録音が始まります。
(録音レベルは自動的に設定されます。)

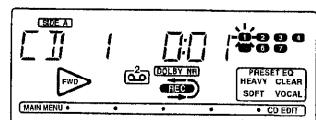
テープ巻戻し中



10秒間の無音録音中



録音開始



録音を止めるには



TAPEの□ボタンを押す
CDも同時に止まります。

編集録音の設定を解除するには



停止中に
□/CLEARボタンを押す
CLEAR表示が出ます。

■曲間に無音部を作つて録音するには

テープ演奏時の曲の頭出しに便利です。
編集録音の操作を始める前に、オースペースを設定する (☞55ページ)。

■テープの両面に振り分けられた曲を確認するには

手順5の操作の後、EDITボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。
1 A面（おもて面）に録音できる曲数とその残り時間
2 B面（うら面）に録音できる曲数とその残り時間
3 両面の残り時間

■別のCDを続けて録音するには

録音終了後、テープに余裕があるとデッキは録音待機状態になります。リンクエディットで引き続き別のCDを録音できます。
(☞34ページ)

ご注意

37曲以上のCDを全曲編集することはできません。37曲以上のCDを使うと手順4でERROR表示の後、“MANUAL”が表示されます。

全曲録音するときは、長さに余裕のあるTAPEを使って、28ページの手順3~5を行ってください。

録
音

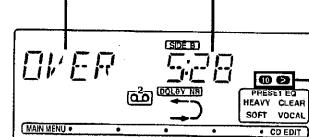
ご参考

- ・テープのリバースモードは自動的に二つになります。
- ・リーダーテープを巻取る必要はありません。

“OVER”が表示されたら

このまま録音を始めることもできますが、テープの長さが足りないので録音できない曲があります。

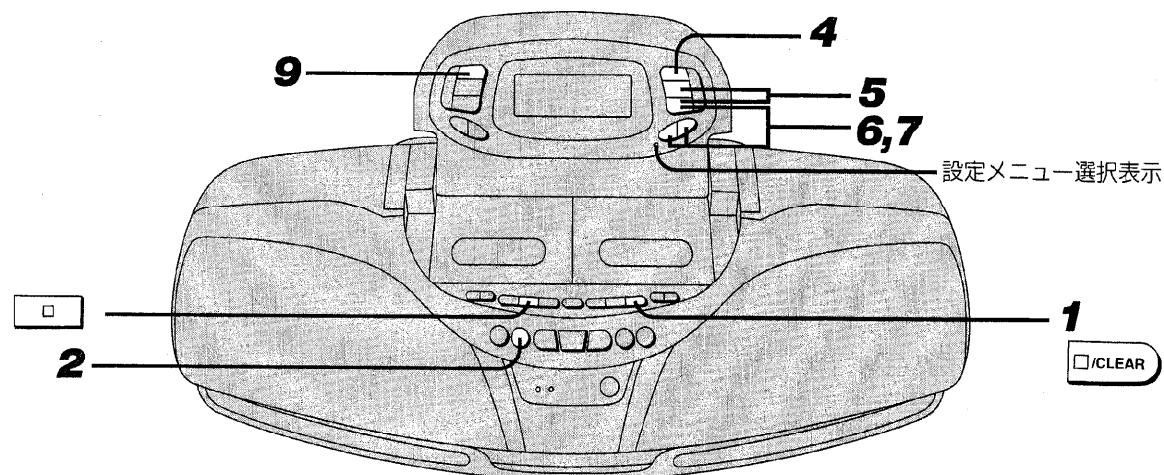
OVER表示 B面（うら面）に足りない時間



録音できない曲

CDを録音する(つづき)

好みの曲を選んで編集録音する(マニュアルエディット) 最大36曲まで予約できます。



CDを入れる

1 □/CLEARボタンを押す

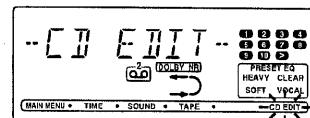
2 DECK2 OPEN/CLOSEボタンを押し、テープを入れる

録音

3 リモコンのSHIFTボタンを押しながらDOLBY NRボタンを押し、
ドルビーNRを選ぶ (☞23ページ)

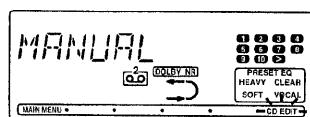
4 MAIN MENU SELECTボタンを押し、「CD EDIT」を表示させる
CD EDIT→TIME→SOUND→TAPE

(押すごとに表示が切り換わります。)



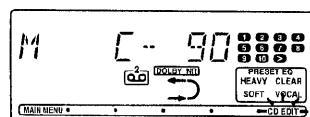
5 SUB MENU SELECTボタンを押し、「MANUAL」を表示させる
AI/FIT→MANUAL→A-SPACE

(押すごとに表示が切り換わります。)



6 -/REV,FWD/+ボタンを押して、
入れたテープの長さを表示させる
46—47—48—89—90—120—1—2—

(押すごとに表示が切り換わります。)



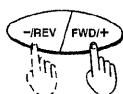
SETボタンを押す



テープ片面分の録音時間

CDを録音する

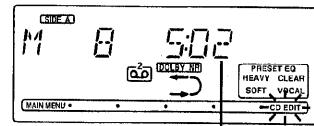
7



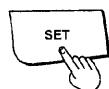
-/REV, FWD/+ボタンを押して、好みの曲を表示させる

M1—M2…M7—M8…M15

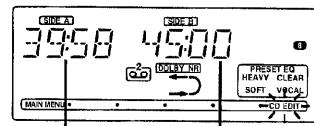
(押すごとに表示が切り換わります。)



指定した曲の演奏時間



SETボタンを押す



テープA面の残り時間

テープB面の残り時間

8

手順7をくり返す

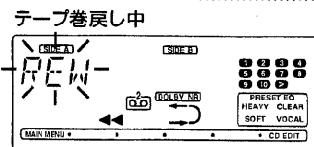
(自動的に予約されます。)

9



AUTO CD RECORDボタンを押して、録音を始める

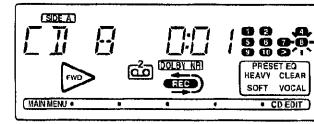
ボタンを押すと、テープを巻戻し、10秒間の無音録音をした後、録音を始めます。



10秒間の無音録音中



録音開始



録
音

録音を止めるには



TAPEの□ボタンを押す
CDも同時に止まります。

編集録音の設定を解除するには



停止中に□/CLEARボタンを押す
CLEAR表示が出ます。

■テープの両面に振り分けられた曲を確認するには

(手順8の後、MAIN MENU SELECTボタンを押してメニュー操作を終えてから)
SETボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

- 1 A面（おもて面）に録音できる曲数とその残り時間
- 2 B面（うら面）に録音できる曲数とその残り時間
- 3 両面の残り時間

■曲間に無音部を作つて録音するには

テープ演奏時の曲の頭出しに便利です。
編集録音の操作を始める前に、オートスペースを設定する (P55ページ)。

■別のCDを続けて録音するには

録音終了後、テープに余裕があるとデッキは録音待機状態になります。リンクエディットで引き続き別のCDを録音できます。

(P34ページ)

ご参考

テープのリバースモードは自動的に二つになります。

テープのリーダーテープを巻取る必要はありません。

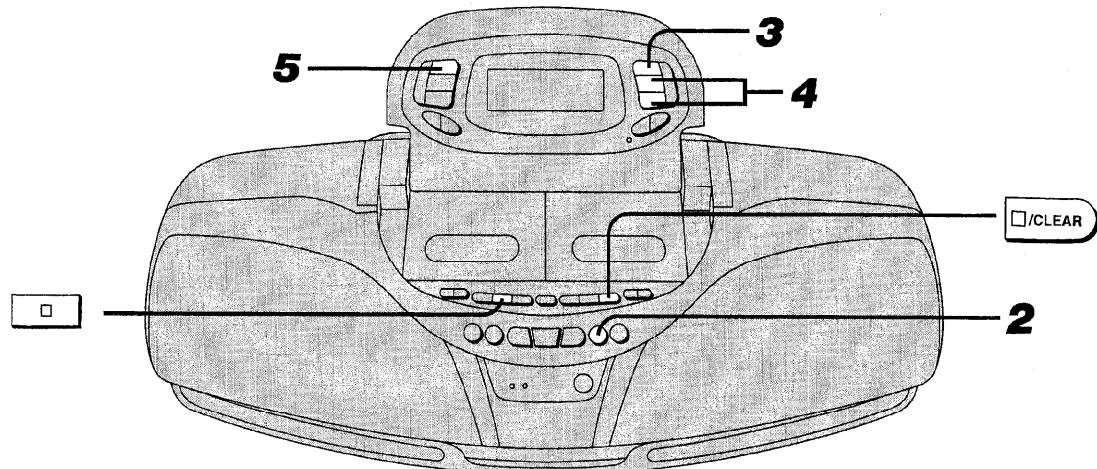
“OVER”が表示されたら

テープの長さが足りないので、最後に選んだ曲は録音できません。

CDを録音する(つづき)

数枚のCDを続けて編集録音する(リンクエディット)

1枚目のCDを編集録音後、デッキが録音待機状態のとき行うことができます。



■2枚目のCDを全曲録音する(AI/FIT)

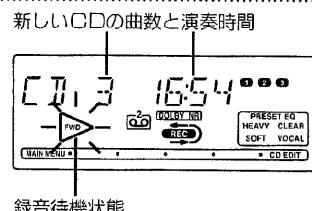
1 1枚目の編集録音をする

CDの全曲を編集録音：AI/FIT (☞30ページ)
好みの曲を選んで編集録音：MANUAL(☞32ページ)

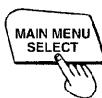
2



CD OPEN/CLOSEボタンを押して、2枚目のCDと入れ換える



3



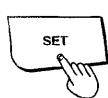
MAIN MENU SELECTボタンを押して、「CD LINK」を表示させる



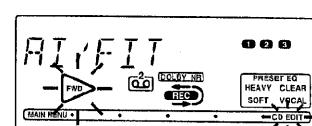
4



SUB MENU SELECTボタンを押して、「AI/FIT」を表示させる
→AI/FIT→MANUAL→A-SPACE



(押すたびに表示が切り換わります)
SETボタンを押す

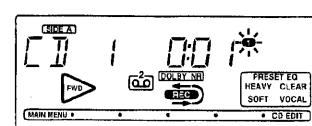


5



AUTO CD RECORDボタンを押して、録音を始める

その位置から録音が始まります。



3枚以上のCDを録音するときは手順2から手順5をくり返す

リンクエディットの設定を解除するには



1 □/CLEARボタンを押して、
編集録音の設定を解除する
CLEAR表示が出ます。



2 TAPEの□ボタンを押して、
録音待機状態を解除する

ご参考

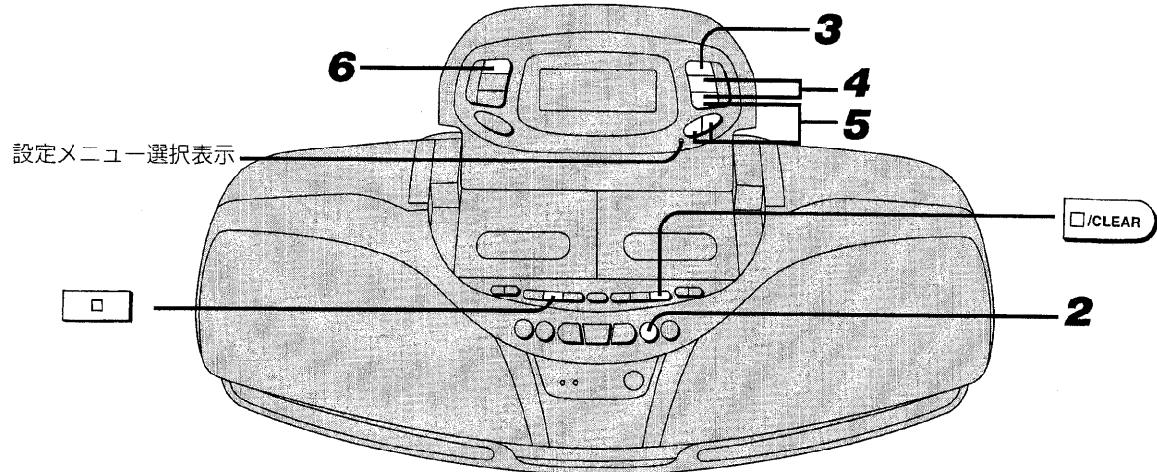
テープのリバースモードは自動的に止ります。

“OVER”が表示されたら

テープの長さが足りないので録音できない曲があります。

1曲も録音できないときは、リンクエディットモードを解除してください。

CDを録音する

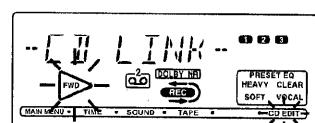


■好みの曲を予約順に録音する(MANUAL)

1 1枚目の編集録音をする

2 CD OPEN/CLOSEボタンを押して、CDを入れ換える

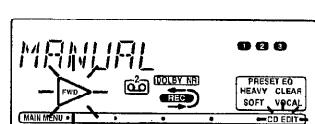
3 MAIN MENU SELECTボタンを押して、「CD LINK」を表示させる



録音

4 SUB MENU SELECTボタンを押して、「MANUAL」を表示させる

SETボタンを押す

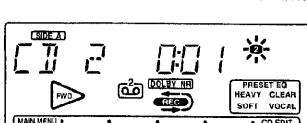
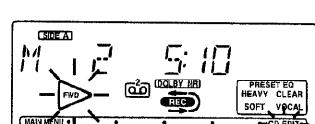


録音

5 -/REV, FWD/+ボタンを押して、好みの曲を表示させる

SETボタンを押す

手順5をくり返して予約をすませる。



6 AUTO CD RECORDボタンを押して、録音を始める

3枚以上のCDを編集するときは手順2から手順6をくり返す。

リンクエディットの設定を解除するには



1 □/CLEARボタンを押して、編集録音の設定を解除する
CLEAR表示が出ます。

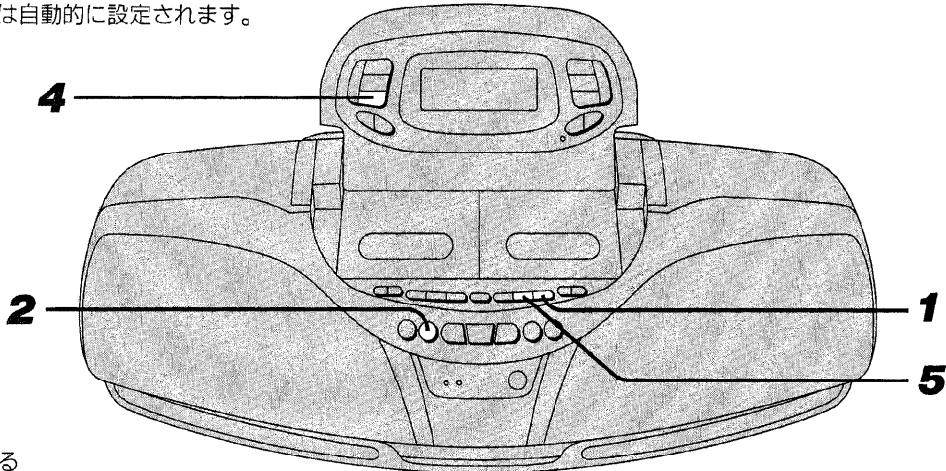


2 TAPEの□ボタンを押して、録音待機状態を解除する

CDを録音する(つづき)

エディット機能を使わずに録音する(シンクロ録音)

録音レベルは自動的に設定されます。



□□を入れる

1 REC/CLEARボタンを押す

2 DECK2 OPEN/CLOSEボタンを押して、テープを入れる
(リーダーテープは巻取っておきます。)

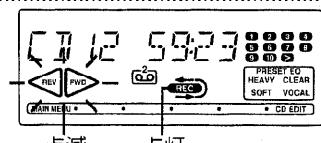
録音

3 リモコンのSHIFTボタンを押しながら、DOLBY NRボタンを押し、
ドルビーNRを選ぶ (☞23ページ)

リモコンのSHIFTボタンを押しながら、REV MODEボタンを押し、
リバースモードを選ぶ (☞23ページ)

- ：片面だけ録音して自動停止
- ：おもて面からうら面を録音して自動停止
- ：おもて面からうら面を録音して自動停止

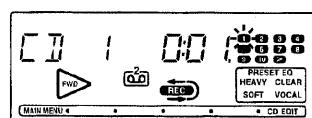
4 REC PAUSEボタンを押して、
録音待機状態にする



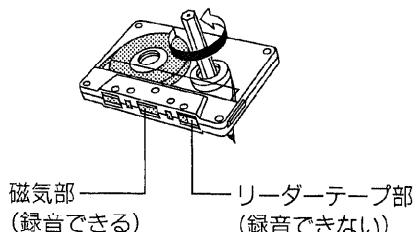
点滅

点灯

5 ▶/■ボタンを押す
録音が始まります。



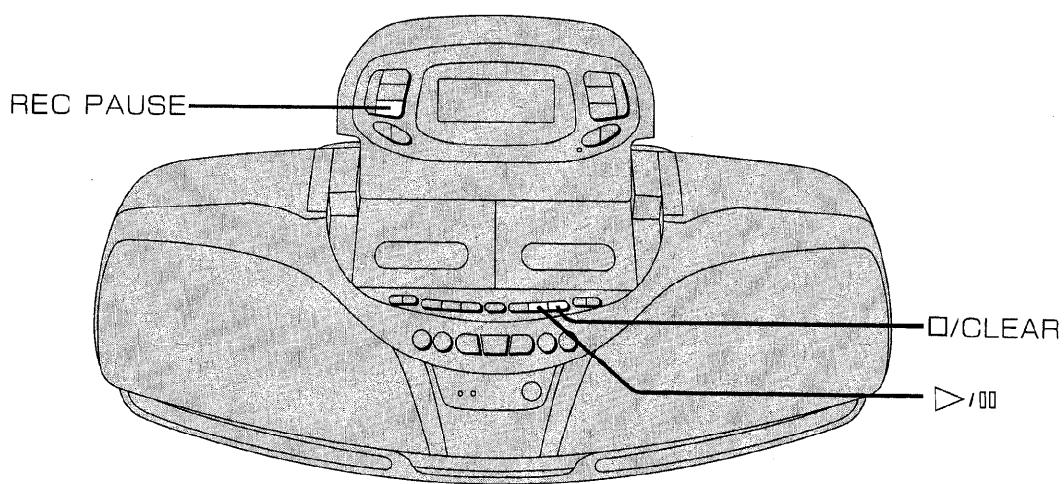
■リーダーテープを巻取るには



■好みの曲を録音するには

好みの曲を予約した (☞20ページ手順1~3) 後、上記の手順2~5を行う。

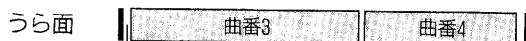
CDを録音する



演奏時間の長い曲を曲順通りに録音する

おもて面の終わりで途切れた部分からうら面の録音をはじめます。

リーダーテープ部は巻取っておきます。



途切れた部分の頭出しをしてから録音を始めます。

リーダーテープ部は巻取っておきます。

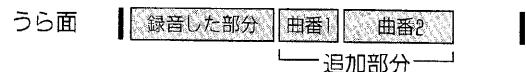
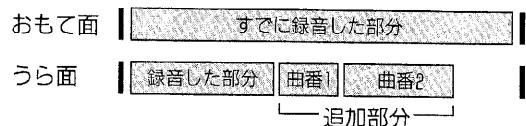
おもて面の録音

- 1 テープとCDを入れる
(リーダーテープ部は巻取っておきます。)
- 2 リバースモードを \square にし、ドルビーNRを選ぶ(☞23ページ)
- 3 □/CLEARボタンを押し、REC PAUSEボタンを押す
- 4 ▶/FFボタンを押す
録音が始まります。
・おもて面の録音が終わり、テープが停止した後も、□は演奏を続けます。

うら面の録音

- 1 テープのおもて面を再生し、演奏の途切れた部分を確認する
- 2 □を演奏し、途切れた部分で ▶/FFボタンを押す
- 3 うら面を上にしてテープを入れ換える
(リーダーテープ部は巻取っておきます。)
- 4 REC PAUSEボタンを押し、 ▶/FFを押す
録音が始まります。

録音したテープの残りにCDを録音する



追加部分

録
音

- 1 録音したい面を上にしてテープを入れる
- 2 録音を始める部分の頭出しをする
(☞24ページ)
- 3 CDを入れ、□/CLEARボタンを押す
- 4 ドルビーNRとリバースモードを選ぶ
(☞23ページ)
- 5 REC PAUSEボタンを押す
- 6 ▶/FFボタンを押す
録音が始まります。

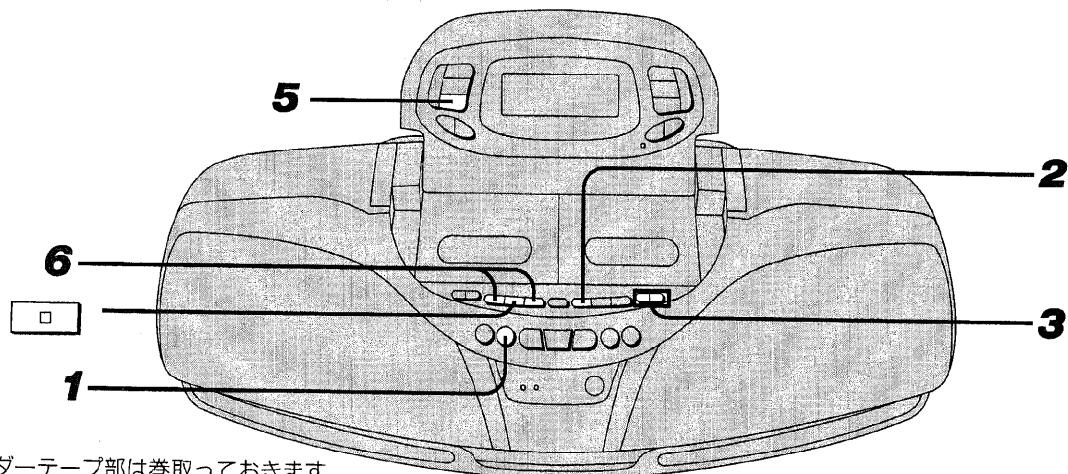
■録音されたテープの音を消すには

- ・録音済みテープに新たに録音すると、前に録音した音は自動的に消去されます。
- ・無音テープを作るには
 - 1 録音したテープをデッキ2に入れる
 - 2 □/CLEARボタンを押す
 - 3 ドルビーNRをオフにする (☞23ページ)
 - 4 リバースモードを選ぶ (☞23ページ)
 - 5 REC PAUSEボタンを押す
 - 6 ◇REV.FWD◇ボタンを押す
FWD◇: おもて面から
◇REV: うら面から

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ラジオ放送を録音する

ノーマル、クローム、メタルテープが使えます。
テッキ2でのみ録音できます。

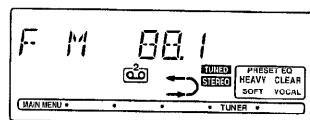


リーダーテープ部は巻取っておきます。

- 1** DECK2 OPEN/CLOSEボタンを押し、テープを入れる

- 2** TUNER/BANDボタンを押して、バンドを選ぶ
(AM→FM (TV) →)
(押すたびに表示が切り換わります。)

- 3** TUNINGボタンを押して、放送局を選ぶ

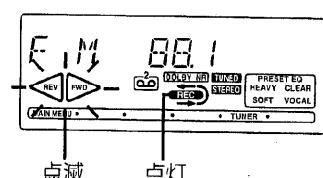


- 4** リモコンのSHIFTボタンを押しながら、DOLBY NRボタンを押し、ドルビーNRを選ぶ (P23ページ)

リモコンのSHIFTボタンを押しながら、REV MODEボタンを押し、リバースモードを選ぶ (P23ページ)

- ←片面だけ録音して自動停止
- ↔おもて面からうら面を録音して自動停止
- ↔おもて面からうら面を録音して自動停止

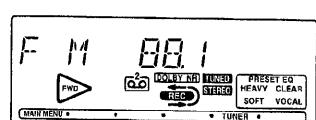
- 5** REC PAUSEボタンを押して、録音待機状態にする



点滅

点灯

- 6** ◇REV,FWD◇ボタンを押す
FWD◇: おもて面から録音開始
◇REV: うら面から録音開始



録音を止めるには



TAPEの□ボタンを押す

一時的に録音を止めるには

REC PAUSEボタンを押す
もう一度録音を始めるには

◀REV,FWD▶ボタンを押す

■AM放送録音中、雑音(ピーという音)が多いときは



リモコンのみ

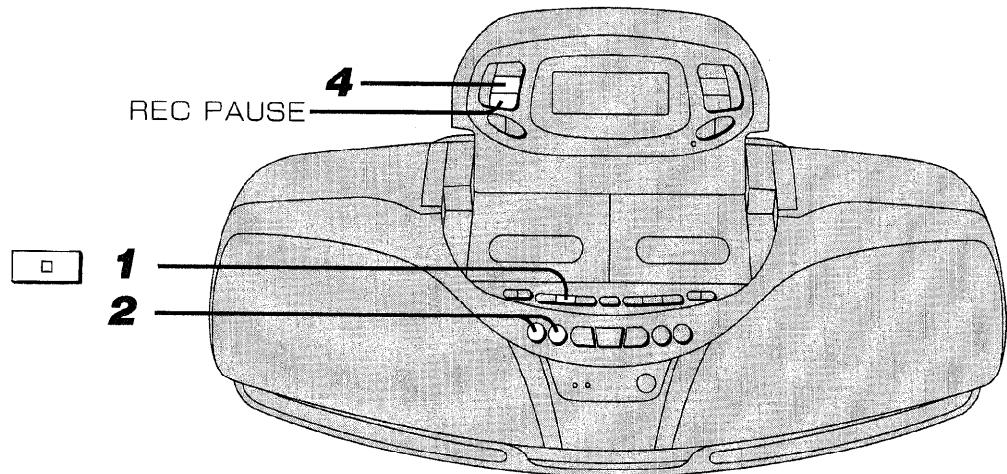
SHIFTボタンを押しながら、B.P.ボタンを押し、「BP1」か「BP2」のうち雑音の少ないほうを選ぶ

ご参考

録音中に音量や音質を変えても、録音には影響ありません。

テープからテープへ録音する

ノーマル、クローム、メタルテープが使えます。



テープは両方ともリーダーテープ部を巻取っておいてください。

- 1** TAPEの□ボタンを押して、テープに切り換える

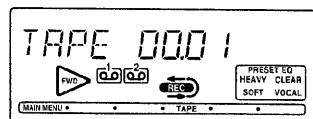
- 2** DECK1 OPEN/CLOSEボタンを押し、再生を始める面を上にして、再生用テープを入れる
3 DECK2 OPEN/CLOSEボタンを押し、録音を始める面を上にして、録音用テープを入れる

- 3** リモコンのSHIFTボタンを押しながら、REV MODEボタンを押し、リバースモードを選ぶ (☞23ページ)

↖：おもて面だけ録音して自動停止
 ↗：おもて面からうら面を録音して自動停止
 C↖：おもて面からうら面を録音して自動停止

- 4** TAPE EDITボタンを押して、録音を始める

通常の速度で：
 1度押す (NORMAL表示の後、録音開始)
 高速 (通常の約1.7倍) で：
 続けて2度押す (HIGH表示の後、録音開始)
 • NORMAL表示中に2度目を押してください。



録音を止めるには



TAPEの□ボタンを押す

■録音を一時的に止めるには

REC PAUSEボタンを押す

もう一度録音を始めるには

TAPE EDITボタンを押す

■別のテープを続けて録音するには

録音終了後、録音用テープに余裕があると、デッキ2は録音待機状態になり、続けて録音できます。

1 デッキ1の再生用テープを入れ換える

2 TAPE EDITボタンで録音を始める

ご注意

録音中に、本機とテレビを近づけると、テレビから出る電波の影響で雑音が録音されることがあります。1.5m以上離してご使用ください。

ご参考

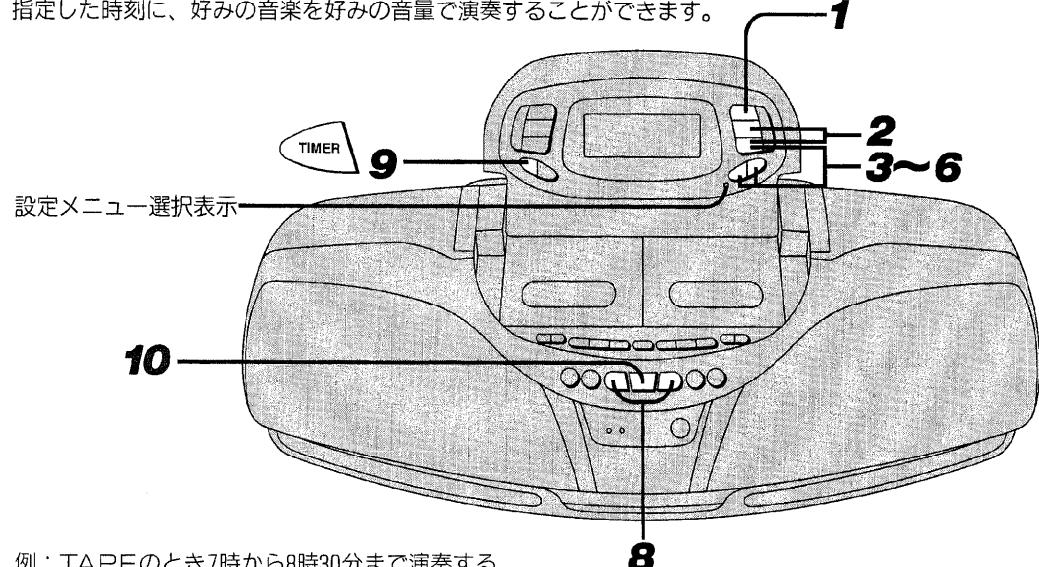
- ・デッキ1、2でそれぞれ異なった種類のテープが使えます。
- ・録音中に音量や音質を変えても、録音に影響ありません。
- ・再生用テープの状態 (録音レベルやDOLBY NR) がそのまま録音されます。

録音

おめざめタイマーを使う

「時計を合わせる」をお済ませください(☞11ページ)。

指定した時刻に、好みの音楽を好みの音量で演奏することができます。



例：TAPEのとき7時から8時30分まで演奏する

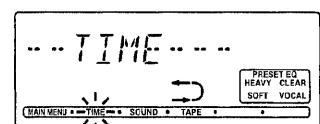
1



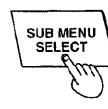
MAIN MENU SELECTボタン
を押して、「TIME」表示させる

→TAPE→TIME→SOUND

(押すたびに表示が切り換わります。)



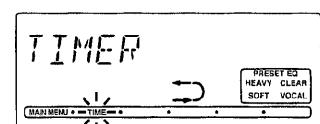
2



SUB MENU SELECTボタン
を押して、「TIMER」を表示させる。

→TIMER→SLEEP→CLOCK

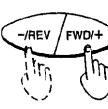
(押すたびに表示が切り換わります。)



SETボタンを押す

・設定メニュー選択表示が点滅

3



演奏開始(ON) 時刻の設定

-/REV,FWD/+ボタンを押して、
「時」(7)を表示させる

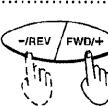
00-01-02-03-04-05-06-07-08-09-00

(押すごとに表示が切り換わります。)



SETボタンを押す

4



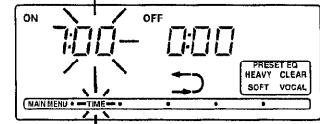
-/REV,FWD/+ボタンを押して、

「分」(00)を表示させる

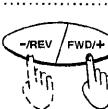
00-01-02-03-04-05-06-07-08-09-00

(押すごとに表示が切り換わります。)

SETボタンを押す



5



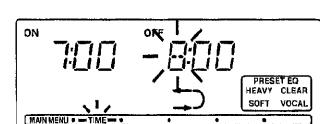
演奏終了(OFF) 時刻の設定

-/REV,FWD/+ボタンを押して、
「時」(8)を表示させる

00-01-02-03-04-05-06-07-08-09-00

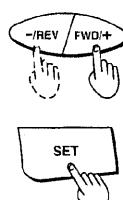
(押すごとに表示が切り換わります。)

SETボタンを押す



おめざめタイマーを使う

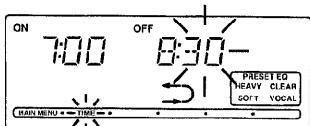
6



-/REV、FWD/+ボタンを押して、
「分」(30)を表示させる

□00-01-03-29-30-59□

(押すごとに表示が切り換わります。)



SETボタンを押す

7

演奏したいソースを選ぶ

ラジオを聞く (☞14、15ページ、手順1~2)

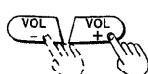
CDを聞く (☞17ページ、手順1~3)

テープを聞く (☞22ページ、手順1~3)

- 両デッキにテープが入っているときは、デッキ1が優先します。

- CDの好みの曲を予約して (☞20ページ)
タイマー演奏することもできます。予約した後、CDを出し入れすると1曲目からのタイマー演奏になります。

8



VOLボタンを押して、演奏時の音量

を調整する

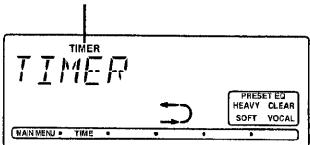
タイマー動作時の音量が設定されます。

9



TIMERボタンを押す

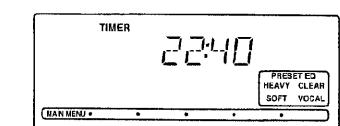
タイマー演奏表示点灯



10

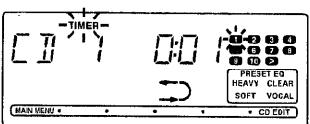


POWERボタンを押して、電源を切
る



予約時刻になると

点滅



タイマーを解除するには(電源「入」時のみ)



TIMERボタンを押して、タイ
マー演奏表示を消す

TIMER-OFF表示が出ます。
タイマーは動作しませんが、設
定した時間は記憶されています。

■予約内容を確認するには(電源「切」時のみ)

TIMERボタンを押す。

自動的に次のように表示が切り換わります。

1 予約時間

2 予約したソース

3 動作時の音量

■予約後(手順9の後)に演奏を楽しむには

1 好みの演奏を始める

2 演奏後、電源を切る

音量やソースを変えても、おめざめ時には予約した内容
に戻ります。

■毎日同じ時刻で使うには

表示部のタイマー演奏表示が点灯していることを確認
してから電源を切る。

音楽と音量を変えて使うには

手順7~10をする

■タイマー演奏中、途中で止めると

電源を切る

ご注意

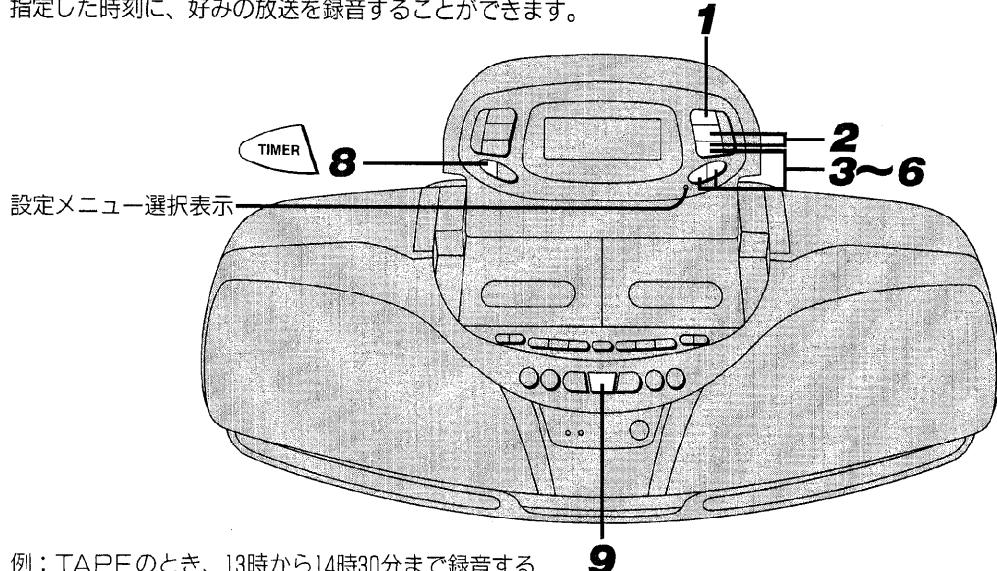
電源が入っているとタイマーは動作しません。

タイマー

留守録タイマーを使う

「時計を合わせる」をお済ませください(☞11ページ)。

指定した時刻に、好みの放送を録音することができます。



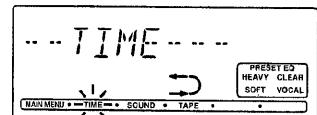
例: TAPE のとき、13時から14時30分まで録音する

1



MAIN MENU SELECTボタン
を押して、「TIME」表示させる

→TAPE→TIME→SOUND



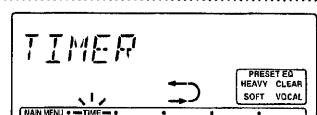
(押すたびに表示が切り換わります。)

2



SUB MENU SELECTボタン
を押して、「TIMER」を表示させる。

→TIMER→SLEEP→CLOCK



(押すたびに表示が切り換わります。)

SETボタンを押す

・設定メニュー選択表示が点滅

3



録音開始(ON) 時刻の設定

-/REV,FWD/+ボタンを押して、
「時」(13)を表示させる

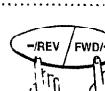
0-1-2...12-13-23



(押すごとに表示が切り換わります。)

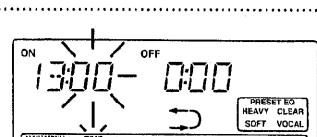
SETボタンを押す

4



-/REV,FWD/+ボタンを押して、
「分」(00)を表示させる

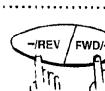
00-01-08...59



(押すごとに表示が切り換わります。)

SETボタンを押す

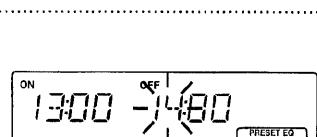
5



録音終了(OFF) 時刻の設定

-/REV,FWD/+ボタンを押して、
「時」(14)を表示させる

0-1-2...13-14-23



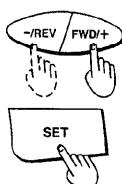
(押すたびに表示が切り換わります。)

SETボタンを押す

タイマーメニュー

留守録タイマーを使う

6

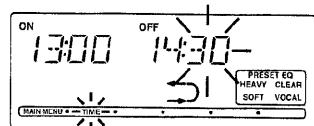


-/REV,FWD/+ボタンを押して、
「分」(30)を表示させる

00-01-03-29-30-59

(押すたびに表示が切り換わります。)

SETボタンを押す



7

録音の準備をする

1 デッキ2に録音を始める面を上にしてテープを入れる。

2 放送局を選ぶ。(☞14、15ページ)

3 ドルビーNRとリバースモードを選ぶ。

(☞23ページ)

・録音時に音声を出したくないときは音量を下げてください。(録音レベルには影響しません。)

8



TIMERボタンを押し、TIMER表示中にもう一度押す

・ボタンを2度押します。RECが表示され

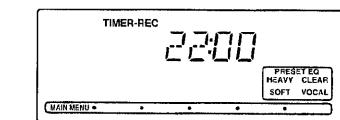
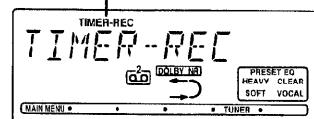
9



POWERボタンを押して、電源を切る

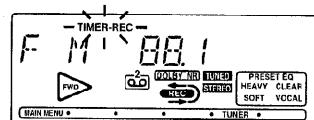
・音量調整→九段に
TIMERボタンを押す

タイマー録音表示点灯



予約時刻になると

点滅



タイマーを解除するには(電源「入」時のみ)



TIMERを押して、タイマー録音表示を消す

TIMER-OFF表示が出ます。
タイマーは動作しませんが、設定した時間は記憶されています。

■予約内容を確認するには(電源「切」時のみ)

TIMERボタンを押す。自動的に次のように表示が切り換わります。

- 1 予約時間
- 2 予約したソース
- 3 動作時の音量

■予約後(手順⑧の後)に演奏を楽しむには

1 好みの演奏を始める

2 演奏後、電源を切る

音量やソースを変えても、留守録時には予約した内容に戻ります。

■毎日同じ時刻で使うには

表示部のタイマー録音表示が点灯していることを確認してから電源を切る。

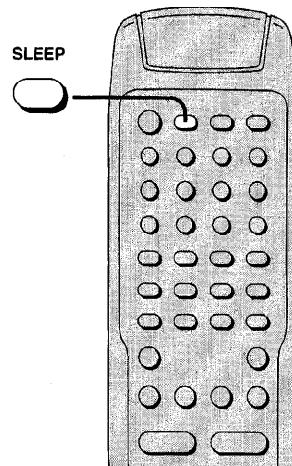
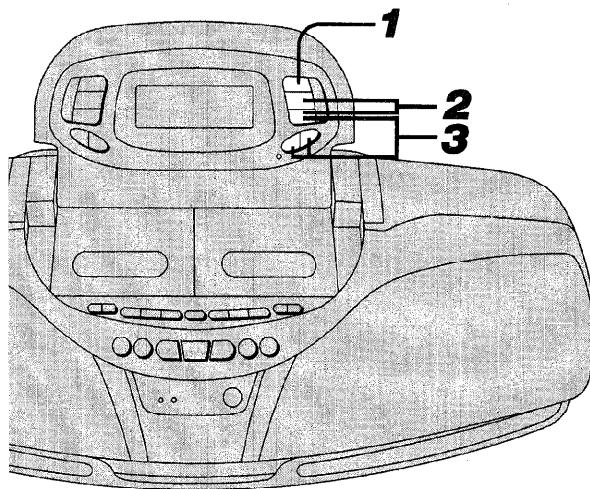
ご注意

電源が入っているとタイマーは動作しません。

タイマー

おやすみタイマーを使う

電源が切れる時間を最大120分まで設定できます。



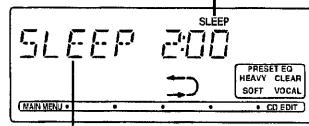
SLEEP



好みのソースを演奏中
リモコンのSLEEPボタンを押して、
おやすみタイマーを動作させる

SLEEPを表示した後、元の表示に戻り、設定し
た時間が経過すると電源が切れます。

スリープタイマー表示



SLEEP表示

タイマーを解除するには

SLEEP



SLEEP表示中にSLEEPボ
タンを押す

設定した時間は記憶されていま
す。

■動作中に残りの時間を確かめるには

SLEEPボタンを押す

■動作中に残り時間を変えるには

1 SLEEPボタンを押す

2 残り時間が表示されている間(約5秒)に-/REV,

FWD/+ボタンを押して時間を変える

・このとき変更した時間は記憶されません。もう一度お
やすみタイマーを使うときは変更する前の時間で予約
されています。

ご参考

一度設定した時間は変更するまで記憶しています。

タイマー

おやすみタイマーの設定時間を見るには

1



MAIN MENU SELECTボ
タンを押し、「TIME」を表示さ
せる

2



SUB MENU SELECTボ
タンを押し、「SLEEP」を表
示させる



SETボタンを押す

3



-/REV,FWD/+ボタンを押
して、好みの時間を表示させ
る



SETボタンを押す

タイマーを組み合わせて使う

おやすみタイマーとおめざめタイマー、または留守録タイマーを組み合わせて使えます。

おめざめタイマーとおやすみタイマーを組み合わせて使う

例：FM放送局を聞きながらおやすみになり、翌朝CDの演奏でめざめるには

- 1 おめざめタイマーでCDの演奏を予約する (☞40、41ページ、手順1~9)
- 2 放送局を選ぶ (☞14、15ページ)
- 3 おやすみタイマーを動作させる (☞44ページ)

ご注意

おめざめタイマーとおやすみタイマーでCDを聞く場合
好みの曲を予約する (☞20ページ) とどちらも同じ内容の演奏になります。

ご参考

おやすみタイマー時に音量を変えても、おめざめタイマーの動作中は演奏予約時に調整された音量になります。

使用例

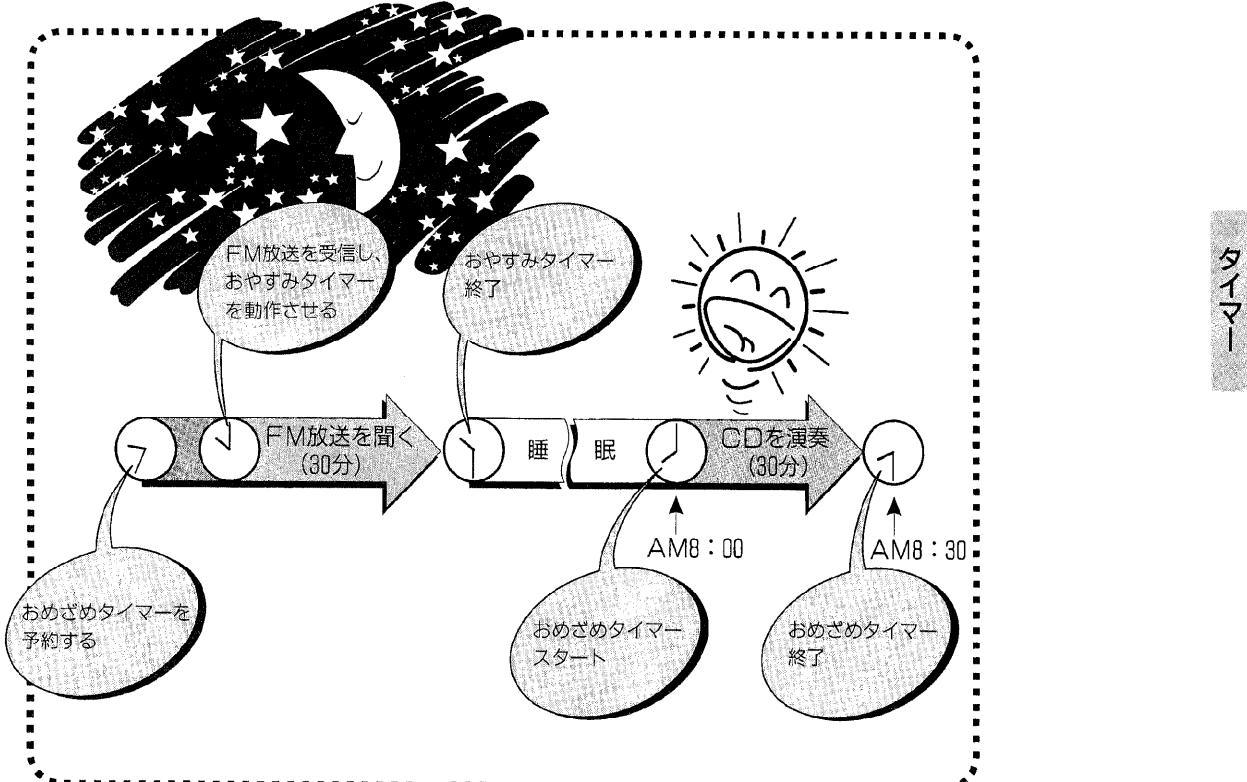
おやすみ時：FM放送を聞く（30分）

おめざめ時：午前8時から30分間CDを演奏する

留守録タイマーとおやすみタイマーを組み合わせて使う

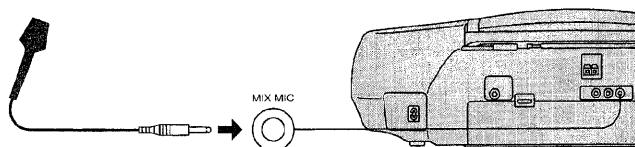
例：CDを聞きながらおやすみになり、深夜番組を録音するには

- 1 留守録タイマーを予約する (☞42、43ページ、手順1~8)
- 2 CDを演奏する (☞17~21ページ)
- 3 おやすみタイマーを動作させる (☞44ページ)
(留守録が始まる前に、電源が切れるようにおやすみタイマーを設定してください。)



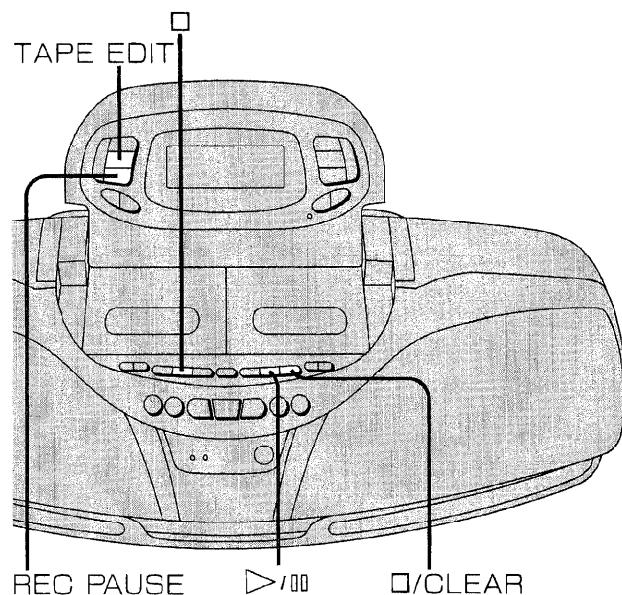
マイクを使って楽しむ

カラオケをする



- 1 音量を下げるマイクを接続する(プラグタイプ:ミニ)
- 2 CDやラジオ、テープを演奏する
- 3 カラオケを始め、音量を調整する

カラオケを録音する



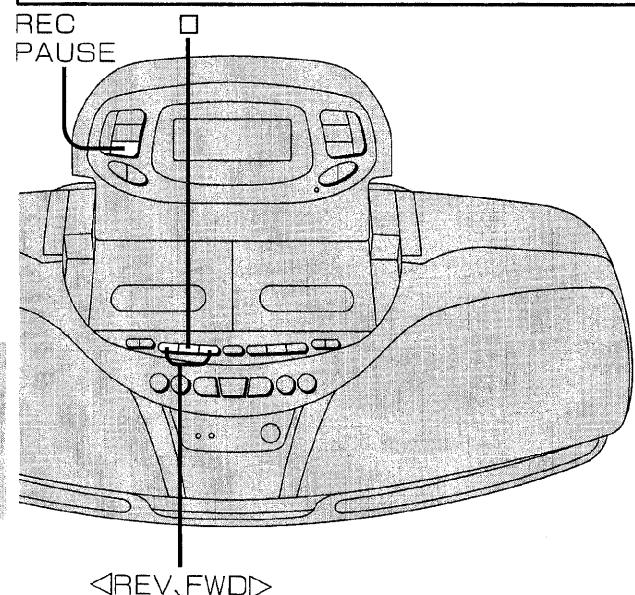
テープとのカラオケを録音する

- 1 マイクを接続し、デッキ1にカラオケ用テープ、デッキ2に録音用テープを入れる
- 2 リバースモードを選ぶ (☞23ページ)
- 3 TAPEの□ボタンを押す
- 4 TAPE EDITボタンを1度押す
演奏/録音が始まります。

CDとのカラオケを録音する

- 1 マイクを接続し、デッキ2にテープを入れる
- 2 ドルビーNRとリバースモードを選ぶ (☞23ページ)
- 3 □/CLEARボタンを押す
- 4 REC PAUSEボタンを押す
- 5 ▶/■ボタンを押す
演奏/録音が始まります。

マイクから自分の声を録音する



- 1 マイクを接続し、デッキ2にテープを入れる
- 2 ドルビーNRとリバースモードを選ぶ (☞23ページ)
- 3 TAPEの□ボタンを押す
- 4 REC PAUSEボタンを押す
- 5 <REV,FWD>ボタンを押す
演奏/録音が始まります。

※マイクは自分の声だけです。
・マイクを接続する
・TAPEの□ボタンを押す

その他の機能

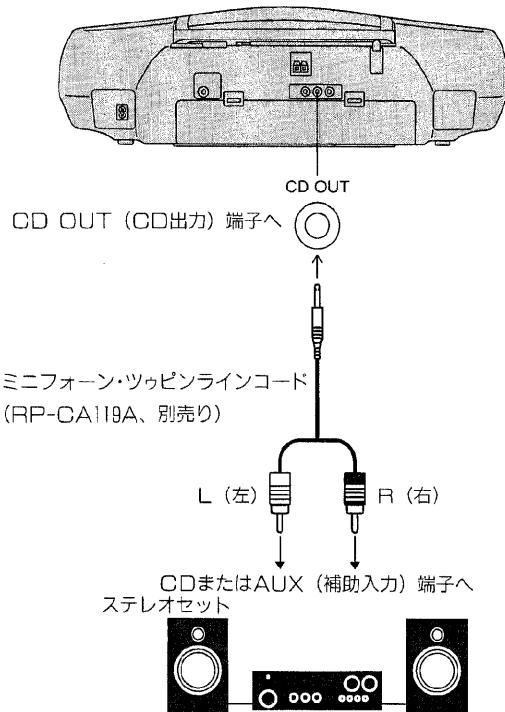
ご参考

- ・マイクを使わないときは、抜いてください。
- ・マイクを使ってハワリング(ピーという音)が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- ・CDとのカラオケをしているときは、□の演奏中のみ音声が出ます。停止、または一時停止中には音は出ません。

他の機器と組み合わせて使う

CDをステレオセットで聞く

■接続する



■演奏する

- 1 □/CLEARボタンを押して、▷/■ボタンを押す
- 2 お手持ちのステレオセットで音量、音質を調整する

外部アンテナを接続する

■FM屋外アンテナ（市販）

1 同軸ケーブルをむく

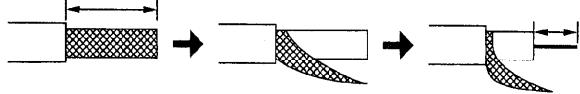
外皮をむく

30mm

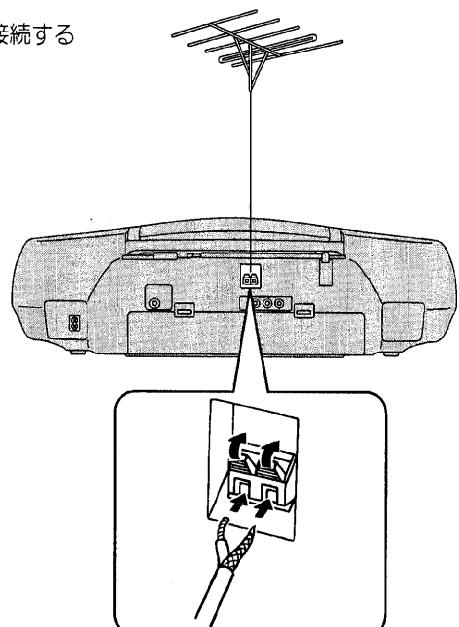
網線を束ねる

芯線を出す

15mm



2 接続する



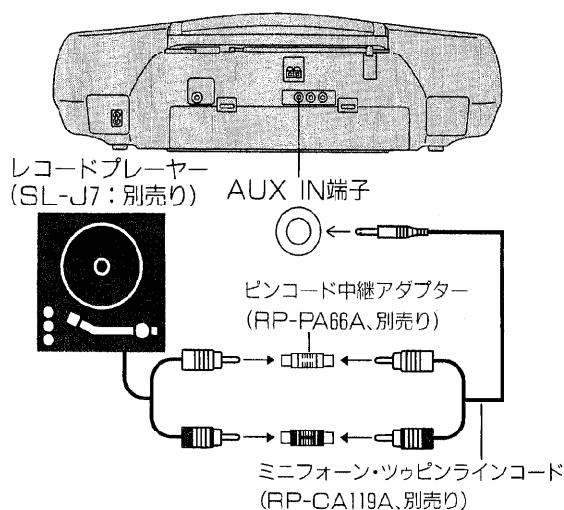
ご注意

外部アンテナを接続したときはホイップアンテナはたたんでおいてください。

本機でレコードを聞く

接続できるレコードプレーヤーはイコライザーアンプ付のものに限ります。

■接続する

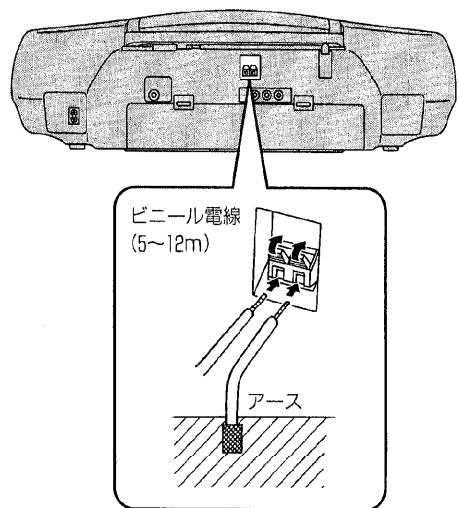


■演奏する

- 1 リモコンのAUXボタンを押す
- 2 お手持ちの機器の演奏を始める

■AM屋外アンテナ（市販のビニール電線）

鉄筋ビル内など電波の弱い地域では必要です。窓際などに設置します。

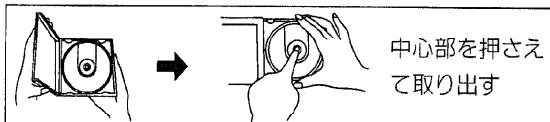


CDについて



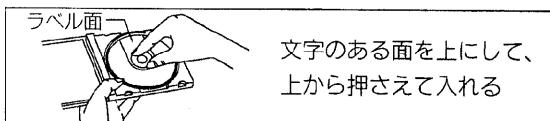
のマークが入ったものをご使用ください。

■出しかた



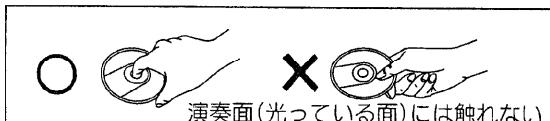
中心部を押さえ
て取り出す

■入れかた



文字のある面を上にして、
上から押さえて入れる

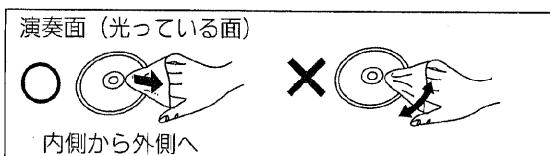
■持ちかた



演奏面(光っている面)には触れない

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、後は空ふきをしてください。



内側から外側へ

■露がついたら

急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のご注意

- ・文字のある面には鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
紙やラベルなどを貼らないでください。
- ・演奏面(光っている面)には指紋や傷をつけないように大切に扱ってください。
レコードクリーナーや溶剤などは用いないでください。

保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光の当たる所
- ・湿気やほこりの多い所
- ・暖房器具の熱が直接当たる所

参考

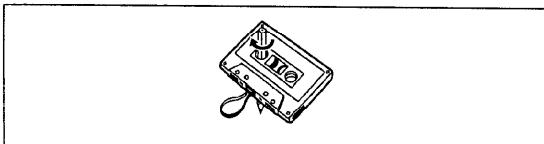
テープについて

■90分を超えるテープについて

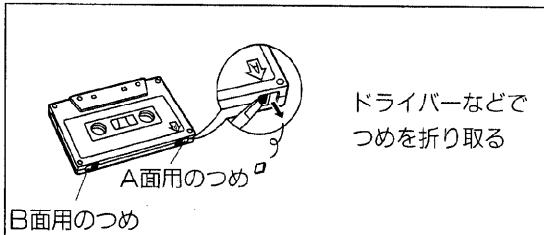
長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こぎざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

■テープのたるみは巻取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

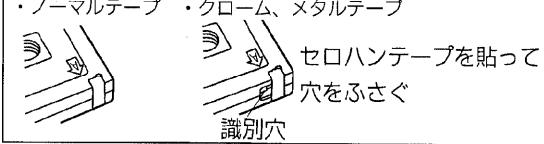


■録音したテープを誤って消さないために



ドライバーなどで
つめを折り取る

もう一度録音するには



セロハンテープを貼って
穴をふさぐ

識別穴

クローム、メタルテープのテープの種類識別穴はふさがないでください。

保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光の当たる所
- ・高温(35°C以上) 高湿(80%以上) の所
- ・磁気のある所(スピーカーの近くやテレビの上など)

お手入れ/著作権について

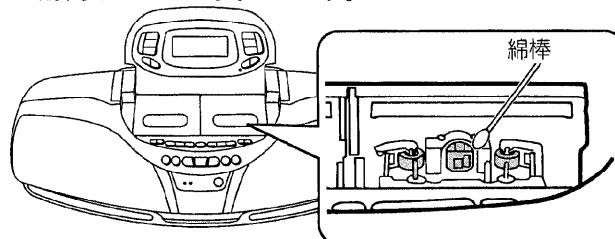
■本体のお手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきをしてください。

- ・化学ぞうきんをご使用のときは、その説明をご覧ください。
- ・アルコールやシンナーは使わないでください。

■ヘッド部のお手入れ

良い音質で録音・再生するために、約10時間使うごとに清掃することをおすすめします。



1. カセットふた開閉ボタンを押してカセットふたを開ける。
2. 綿棒か、ヘッドクリーニングキット (HP-919、別売り) で清掃する。

■著作権について

- ・放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- ・従って、それらから録音したテープを、売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- ・使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC) の本部、または、最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本 部	03(3502)6551	北陸支部	0762(21)3602
北海道支部	011(221)5088	京都支部	075(251)0134
盛岡支部	0196(52)3201	大阪支部	06(244)0351
仙台支部	022(264)2266	神戸支部	078(322)0561
大宮支部	048(643)5461	中国支部	082(249)6362
東京支部	03(3562)4455	四国支部	0878(21)9191
西東京支部	03(3232)8301	九州支部	092(441)2285
横浜支部	045(662)6551	鹿児島支部	0992(24)6211
静岡支部	054(254)2621	那覇出張所	098(863)1228
中部支部	052(586)1155		

海外で使うときは

乾電池でご使用ください。

■AM放送の受信

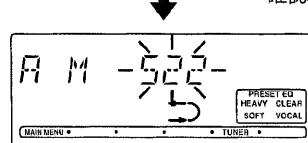
AM放送の受信周波数ステップには、9kHzと10kHzの国があります。

本機は9kHzにセットされていますが、10kHzステップの国でご使用になる場合、ステップ数を切り換えることができます。

受信周波数ステップを切り換えるには

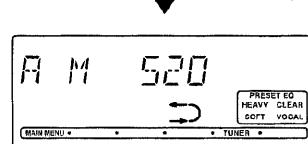
TUNER/BANDボタンを押してAM放送を選び、そのまま押し続ける。（約10秒間）

約5秒後



確認音「ピッ！」

約5秒後



確認音「ピッ！」



10kHzステップに切り換わる。

・9kHzステップに戻すときは上記の操作をくり返す。

9kHz地域 日本、東南アジア、ヨーロッパ

10kHz地域 北米、中南米、東南アジアの一部

■FM放送の受信

FM放送の受信周波数ステップには、0.05MHzと0.1MHzの国があります。

本機は0.1MHzにセットされています。

0.05MHzステップの地域では、正確な受信ができないことがあります。

ご注意

- ・ステップ数を切り換えたときは、AMの放送局のメモリーは消えます。もう一度覚えてください。
- ・本機は日本国内仕様ですので、電圧の異なる海外では、家庭用コンセントでの使用はできません。

参考

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買上げの販売店にご相談ください。外部アンテナの設置、調整などについては、直接、お買上げの販売店にご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください	処置	ページ
共通	操作ができない。 (乾電池電源のとき)	乾電池でお使いのとき、電源コードが本体に差しこまれたままになっていませんか。	電源コードを抜く。	4
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。または電源を家庭用コンセントに換える。	5
		乾電池の \oplus 、 \ominus が逆になっていませんか。	\oplus 、 \ominus を正しく入れる。	4
	“ERROR”が表示された。	誤った操作をしていませんか。	説明書を読みでもう一度操作してください。	
	メニュー操作中、表示が元に戻った。	間隔をあけて操作していませんか。	もう一度始めから操作してください。	52
CD部	演奏が始まらない。 曲数などの表示が出ない。	CDが表裏逆に入っていますか。	ラベル面を上にして入れる。	17
		本体のCD部が露付き状態になっていませんか。	電源を入れ、1時間程度待ってから使う。	51
	特定の箇所が正しく演奏されない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	48
		CDに傷がありませんか。	新しいCDを取り換える。	
	CDトレイ開閉ボタンを押しても、トレイが閉じない。	トレイに正しくのせられていますか。	入れ直す。	
テープ部	録音できない。	テープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。	48
	雑音が多い。音質が良くなない。	ドルビーNRの切り換えが間違っていますか。	録音時の設定に合わせて切り換える。	23
		ヘッドが汚れていませんか。	ヘッドのお手入れをする。	49
		ヘッドが磁気を帯びていませんか。	市販の消磁器で消磁する。	
	高速で早送り・巻き戻ししない。	テープの中ほどから操作していますか。	テープの始めまたは終わりから操作したときのみ高速になります。	
		ラジオに切り換えていませんか。	CDまたはテープに切り換えて使う。	
	カセットふた開閉ボタンを押しても、ふたが閉じない。	テープを逆に入れていますか。	入れ直す。	
リモコン部	操作ができない。	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	5
		乾電池の \oplus 、 \ominus が逆になっていますか。	\oplus 、 \ominus を正しく入れる。	5
		リモコンの送信部が、本体の受光部に正しく向けられていますか。	途中に障害物がないことを確認し、受光部に正しく向けて操作する。	5
		受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていますか。	当たらないようにする。	

ラジオ部	雑音が多く、うまく選局できない。	アンテナ調整のしかたが悪くありませんか。	アンテナの向きなど変えてみる。 外部アンテナを設置する。	16 47
	AM放送で雑音が入る。	リモコンを近くで使っていませんか。	リモコンを離す。	
タイマー部		テレビと同時に使用していませんか。	テレビと距離を離す。またはテレビの電源を切る。	
予約時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか。 (おめざめタイマー、留守録タイマー使用時)	設定した後、電源を切る。	41 43	
	コブラトップパネル		予約したタイマーの表示 (タイマーディスプレイ表示、タイマーレコード表示、またはスリープタイマー表示) が点灯していますか。	表示が点灯するように、もう一度操作する。
コブラトップパネルの角度が好みに調整できない。	調整できない角度にしようとしていませんか。	調整できる範囲で使用する。	8	
	操作してないのに、コブラトップパネルが開き、演奏が始まる。	マジカルコブラトップ機能が設定されていませんか。	マジカルコブラトップ機能を使わないときは設定を解除する。	9

露付き状態とは

寒い冬、暖房の効いた部屋の窓ガラスに水滴が付きますが、この現象を露付きといいます。

本機はCD部にレンズを内蔵していますから、次のような場合にレンズに露付きが起こることがあります。

- ・暖房を始めた直後の部屋
- ・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋
- ・冷たいところから、急に暖かいところに持ちこんだとき

このような場合、正しく動作しないことがあります。電源を入れ、約1時間待ってからご使用ください。

アフターサービスについて

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

50~51ページの「故障かな!?」に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

・保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にご連絡ください。

・保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にご連絡ください。

59ページのサービス伝言カードをご使用になると便利です。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

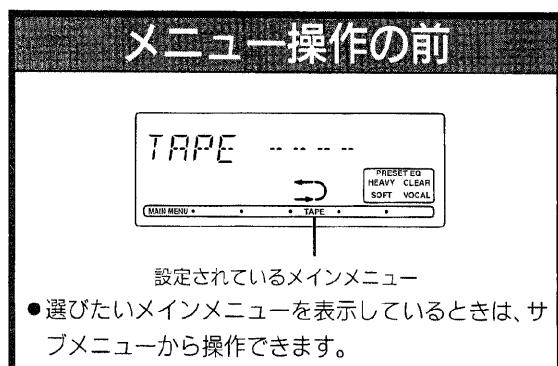
この期間は通商産業省の指導によるものです。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にお問い合わせください。

メニュー操作について

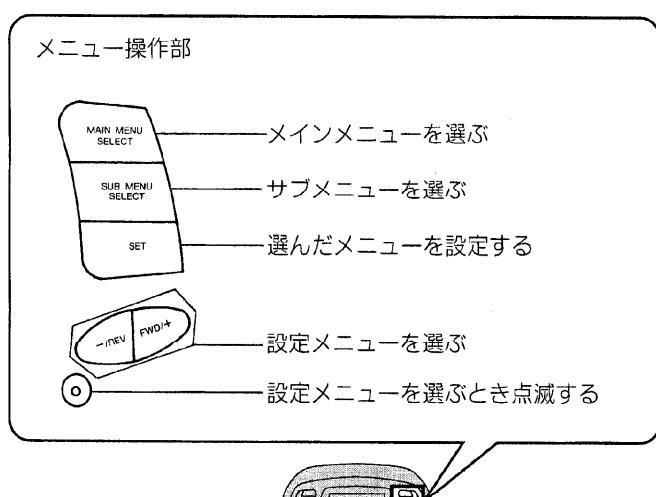
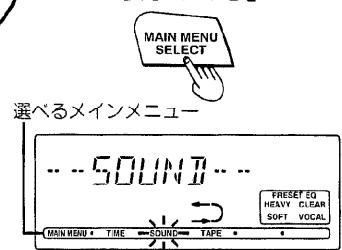
5つのボタンで多彩な機能を楽しむことができます。



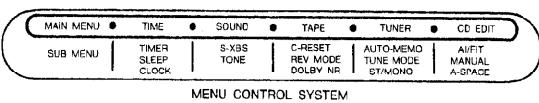
操作の
ポイント

メインメニュー

「表示させる」



各メインメニューに含まれるサブメニューを表示しています。
操作に必要なメニューを選ぶとき便利です。



ご注意

操作間隔があくとメニュー操作を自動的に終了することがあります。

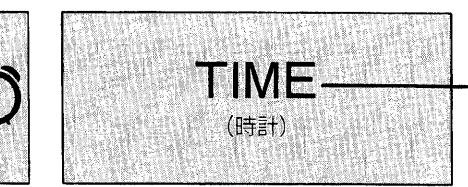
もう一度はじめからやり直してください。

ご参考

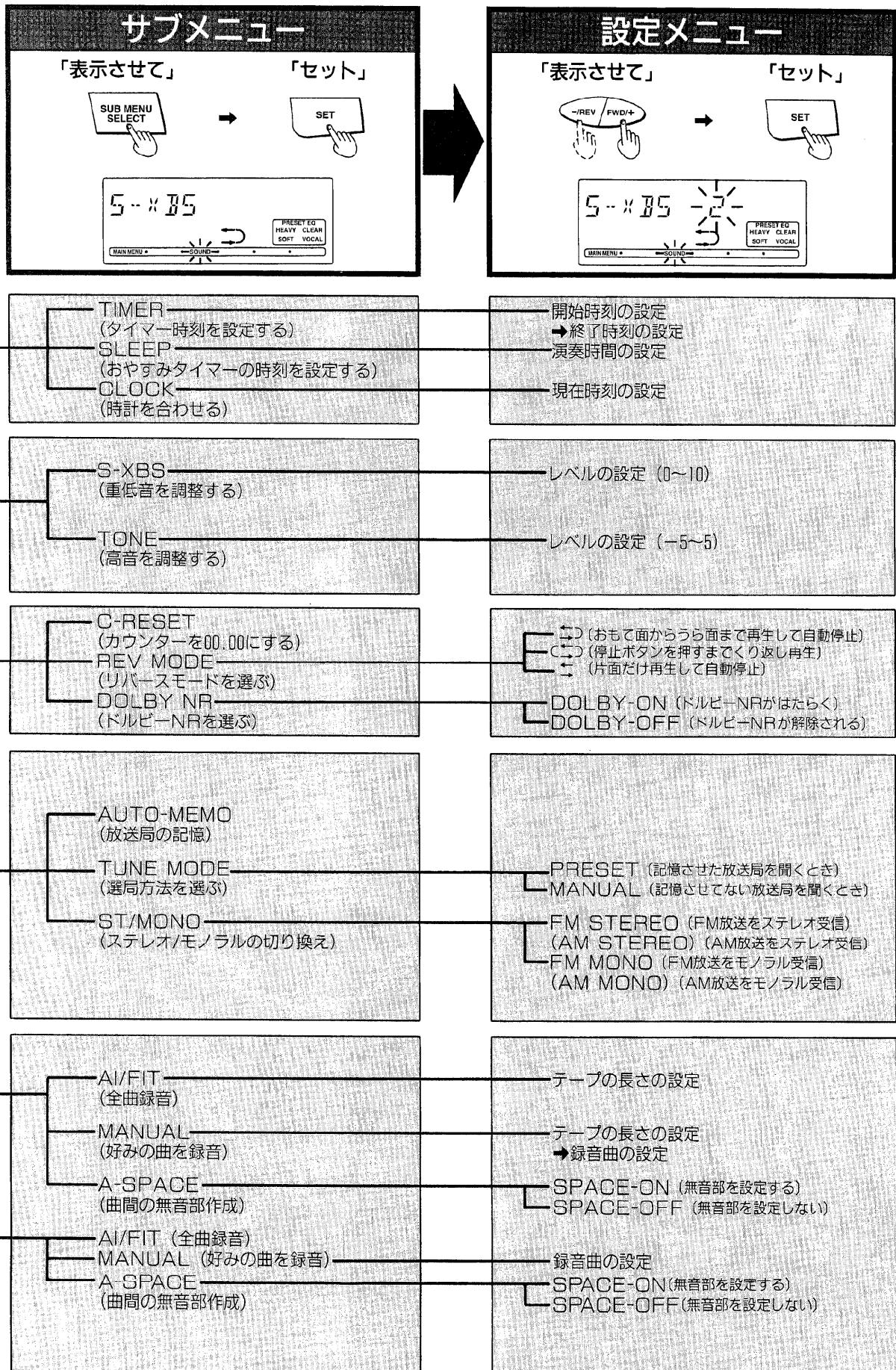
■操作を間違えたときは

MAIN MENU SELECTボタンを押して、最初からやり直してください。

参考



メニュー操作について

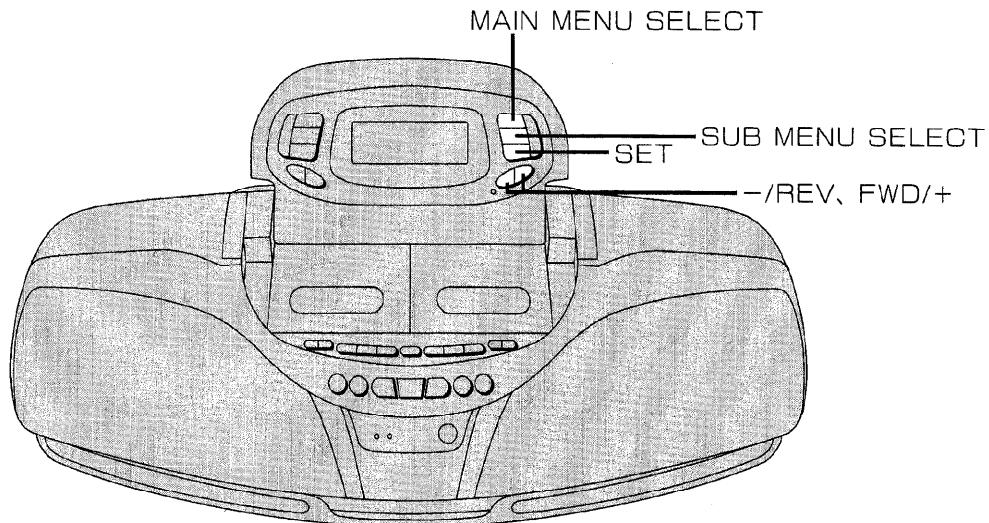


参考

メニュー操作について(つづき)

メニュー操作の例

デッキ部



■ドルビーNRを選ぶ (☞23ページ)

- 1.MAIN MENU SELECTボタンを押して、「TAPE」を表示させる
- 2.SUB MENU SELECTボタンを押して、「DOLBY NR」を表示させる
SETボタンを押す
- 3.-/REV、FWD/+ボタンを押して、「DOLBY-ON」か「DOLBY-OFF」を選ぶ
SETボタンを押す

■リバースモードを選ぶ (☞23ページ)

- 1.MAIN MENU SELECTボタンを押して、「TAPE」を表示させる
- 2.SUB MENU SELECTボタンを押して、「REV MODE」を表示させる
SETボタンを押す
- 3.-/REV、FWD/+ボタンを押して、好みのモードを表示させる
SETボタンを押す

DOLBY-ON：ドルビーNRがはたらく

DOLBY-OFF：ドルビーNRが解除される

→：おもて面からうら面まで再生して自動停止

↔：停止ボタンを押すまでくり返し再生

(両デッキにテープが入っているときは両方のテープを連続再生)

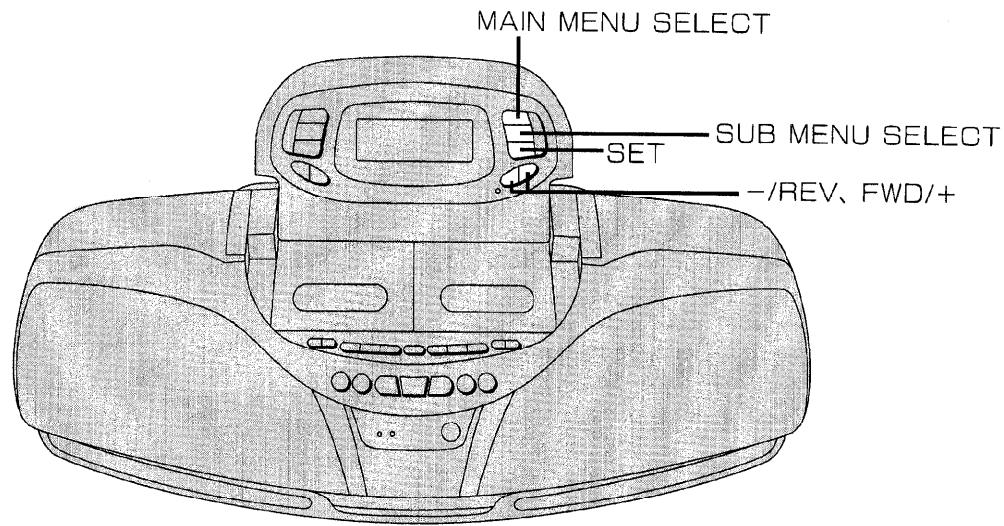
←：片面だけ再生して自動停止

■リニアテープカウンターを00.00にする (☞24ページ)

- 1.MAIN MENU SELECTボタンを押して、「TAPE」を表示させる
- 2.SUB MENU SELECTボタンを押して、「C-RESET」を表示させる
SETボタンを押す

メニュー操作について

ラジオ・CD部



■モノラルで受信するには (P16ページ)

- 音声をモノラルにして雑音を少なくします。
- MAIN MENU SELECTボタンを押して、「TUNER」を表示させる
 - SUB MENU SELECTボタンを押して、「ST/MONO」を表示させる
SETボタンを押す
 - /REV、FWD/+ボタンを押して、「FM (AM) MONO」を表示させる
SETボタンを押す

・ステレオで受信に戻すには、もう一度同じ手順をくり返し、手順3でFM(AM)STEREOを選ぶ

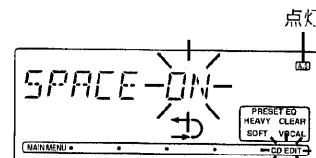
■選局方法を選ぶ (P14、15ページ)

- プリセットとマニュアルの2つがあります。
- MAIN MENU SELECTボタンを押して、「TUNER」を表示させる
 - SUB MENU SELECTボタンを押して、「TUNE MODE」を表示させる
SETボタンを押す
 - /REV、FWD/+ボタンを押して、「PRESET」か「MANUAL」を選ぶ
SETボタンを押す

PRESET : 記憶させた放送局を聞くとき
MANUAL : 記憶させていない放送局を聞くとき

■CDの曲間に無音部を作り録音する (オートスペース)

- テープの頭出しをするには曲と曲の間に4秒以上の無音部が必要です。
- オートスペースを設定すると、曲と曲の間に約4秒の無音部を自動的に作ります。
- 自動CD録音(P28ページ)かメニュー編集録音(P30~35ページ)の操作をする前に設定してください。
- MAIN MENU SELECTボタンを押して、「CD EDIT」を表示させる
 - SUB MENU SELECTボタンを押して、「A-SPACE」を表示させる
SETボタンを押す
 - /REV、FWD/+ボタンを押して「SPACE-ON」を表示させる



SETボタンを押す

- ・解除するには
もう一度同じ手順をくり返し、手順3で「SPACE-OFF」を選ぶ

ご注意

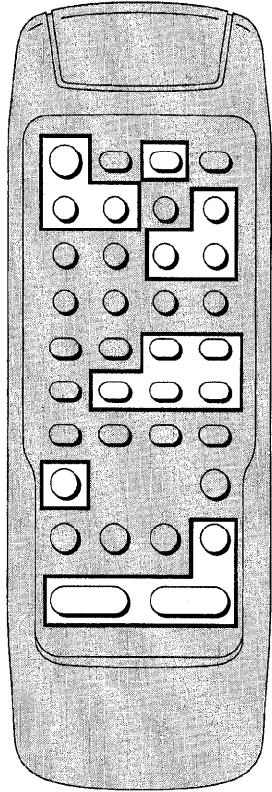
シンクロ録音時(P36ページ)にはオートスペースは働きません。

参考

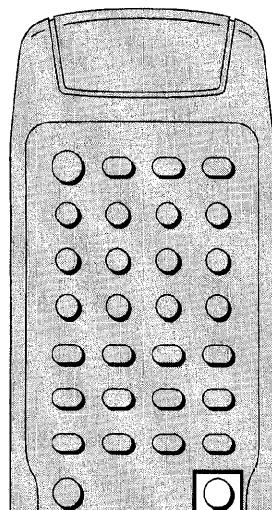
リモコン操作早見表

青色の文字の機能を使うときは、SHIFTボタンを押しながら表示のあるボタンを押す。

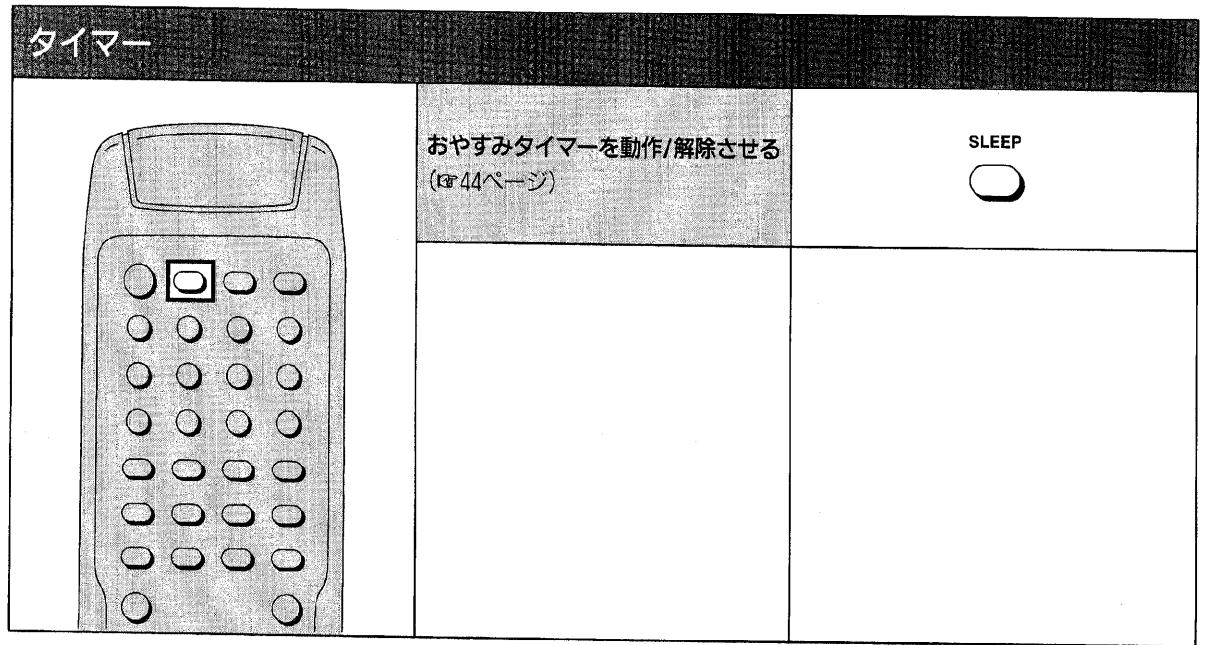
共通

	電源を入/切する(家庭用コンセント使用時) ・乾電池で使用中は、「切」のみ	POWER
	入力ソースを切り換える	TUNER/BAND (ラジオ) (CD) (テープ)
	音量を調整する	- VOLUME +
	外部機器を使用する (☞47ページ)	AUX
	表示部を切り換える (☞10ページ)	SHIFT → DISPLAY 押しながら
	コブラトップパネルを開閉する (☞8ページ)	COBRA TOP MAGICAL
	コブラトップパネルの角度を調整する (☞8ページ)	SHIFT → TIILT (↑ ↓) 押しながら
	マジカルコブラトップ機能を設定する (☞9ページ)	SHIFT → COBRA TOP MAGICAL 押しながら
	ワンタッチで演奏する (☞10ページ)	TUNER/BAND (ラジオ) ▶/II (CD) ▲REV FWD ▼ (テープ)
	確認音の設定をする (☞10ページ)	SHIFT → BEEP 押しながら

音質

	イコライザー効果を選ぶ (☞25ページ)	PRESET EQ →HEAVY→CLEAR→SOFT→VOCAL← EQ-OFF← (押すたびに表示が切りわります。)

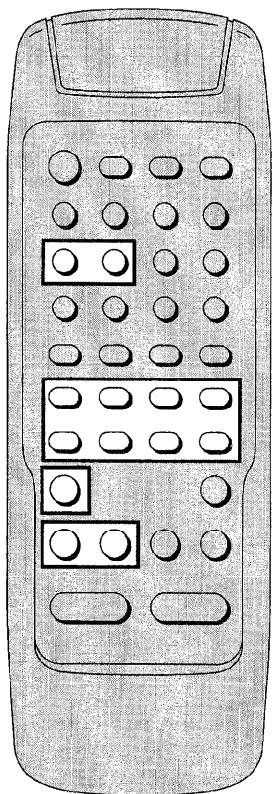
リモコン操作早見表



参考

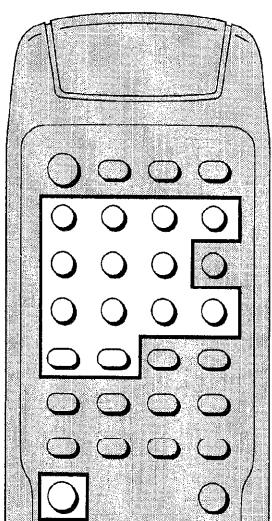
リモコン操作早見表(つづき)

テープ



カセットふたを開閉する (☞22ページ)	1 DECK 2	
演奏を始める (☞22ページ)	◀REV	FWD ▶
テッキ1/2を切り換える (☞22ページ)	DECK1/2	
早送り、巻き戻しする (☞24ページ)	停止中	
曲の頭出しをする (☞24ページ)	再生中	
演奏を止める (☞22ページ)		
録音をする (☞36ページ)	●II	▶REV FWD ▶
ドルビーノイズを選ぶ (☞23ページ)	→	DOLBY NR
リバースモードを選ぶ (☞23ページ)	→	REV MODE
リニアテーブルカウンターを00.00にする (☞24ページ)	C-RESET	

チューナー



記憶させた放送局を聞く (☞14ページ)	TUNER/BAND	TILT 1 2 3 DOLBY NH REV MODE BPF STereo D.P. RAISON REPEAT 7 8 9 0
記憶させてない放送局を聞く (☞15ページ)	TUNER/BAND	-/-/+ > <-/-/+
ステレオ受信かモノラル受信を選ぶ (☞16ページ)	→	ST/MONO
AM放送録音時に雑音を減らす (☞38ページ)	→	B.P.

索引

共通部

乾電池の交換時期	5
コブラトップパネルについて	8
コブラトップパネルを見やすい角度に調整する	8
マジカルコブラトップ機能について	9
確認音について(ビープトーン)	10
現在時刻やリニアテープカウンターを表示させる	10
ワンタッチで演奏する	10
時計を合わせる	11

ラジオ放送を聞く

自動で放送局を記憶させる(オートメモリー)	12
手動で記憶させる(マニュアルメモリー)	13
記憶させた放送局を聞く(プリセットチューニング)	14
記憶させてない放送局を聞く(マニュアルチューニング)	15
アンテナを調整する	16
FM、AM放送で雑音が多いときは	16

CDを聞く

曲をとび越す(スキップ)	18
早送り、早戻しする(サーチ)	18
曲をくり返し聞く(リピート)	18
好みの曲から聞く(ダイレクトプレイ)	19
好みの曲を選んで聞く(プログラムプレイ)	20
順不同に聞く(ランダムプレイ)	21

テープを聞く

ドルビーN戻を選ぶ	23
リバースモードを選ぶ	23
曲の頭出しをする(TPS)	24
早送り、巻き戻しをする	24
リニアテープカウンター	24

音質

イコライザー効果を選ぶ	25
重低音を調整する	26
高音を調整する	26

CDの録音

簡単に録音する(自動CD録音)	28
CDを全曲編集録音する(AI/フィットエディット)	30
好みの曲を選んで編集録音する(マニュアルエディット)	32
数枚のCDを続けて編集録音する(リンクエディット)	34
エディット機能を使わずに録音する(シンクロ録音)	36
演奏時間の長い曲を曲順通りに録音する	37
録音したテープの残りにCDを録音する	37
CDの曲間に無音部を作つて録音する(オートスペース)	55

ラジオ/テープの録音

ラジオ放送を録音する	38
AM録音中、雑音が多いときは	38
テープからテープへ録音する	39

タイマー

おめざめタイマーを使う	40
留守録タイマーを使う	42
おやすみタイマーを使う	44
タイマーを組み合わせて使う	45

マイク

カラオケをする	46
カラオケを録音する	46
マイクから自分の声を録音する	46

(サービス伝言カード)

修理をご依頼になるときに、必要事項をご記入の上、お買い上げの販売店にお持ちください。

(ふりがな) お名前			
ご住所			
ご連絡先	電話 () -		
商品名	ポータブルステレオ CDシステム	品番	RX-DT75
ご購入日	ご依頼日	※私の希望修理代金は_____円迄です	

主な仕様/別売品について

■ラジオ部

受信周波数：FM：76.0-108.0MHz(0.1MHzステップ)
AM：522-1629kHz(9kHzステップ)
520-1710kHz(10kHzステップ)

■CDプレーヤー部

標本化周波数：44.1kHz
復号化：16ビット直線
光源：半導体レーザー(波長780nm)

オーディオ

チャンネル数：2チャンネルステレオ
周波数特性：20-20000Hz(+/-2dB)
ワウ・フラッタ：測定限界以下

DAコンバーター：MASH*(1ビットD/A)

■カセットデッキ部

トラック方式：ステレオ

録音方式：交流バイアス

消去方式：交流消去

モニター方式：パリアブルサウンドモニター

周波数範囲：ノーマルテープ：30-16,000Hz(EIAJ)
クロームテープ：30-17,000Hz(EIAJ)
メタルテープ：30-18,000Hz(EIAJ)

■時計/メモリー部

電源：乾電池：DC6V(単3形乾電池4個)

電池持続時間：約1年間

(別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R6P使用時)

■リモコン部

電源：乾電池：DC3V(単4形乾電池2個)

電池持続時間：約1年間

(ナショナル乾電池ネオ《黒》R03使用時)

最大外形寸法：62(W)×175(H)×24(D)mm(EIAJ)

重量：約104g(乾電池を含む)



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

別売品について

お求めのときは販売店へお確かめください。

- マイク RP-VK2
- コンパクトディスククリーナー RP-CL200
- ヘッドクリーニングキット RP-919
- ヘッドホン RP-HT86
- ミニフォーン・ツウビンラインコード RP-CA119A
- ピンコード中継アダプター RP-PA66A

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	お近くの当社ご相談センター	お買い上げ日	年月日
電話() -	電話() -	品番	RX-DT75